



NIKE, INC. RESTRICTED SUBSTANCES LIST & SUSTAINABLE CHEMISTRY GUIDANCE

制限物質 & サステナブル ケミストリーガイド

リリース日: 2017年1月18日

最新のRSLを確実に入手できるよう、必ず www.nikeincchemistry.com を参照してください。

注記: オンラインバージョンの本文書が公式のものです。印刷版はいずれも管理されていません。



CONVERSE

Hurley)





内容

- 3 **概要**
- 7 **Nike制限物質一覧**
Nikeのアパレル、フットウェア、装飾品に使用される材料および部品のすべてに対する化学物質の制限。
- 27 **Nike RSL導入ガイドンス**
遵守の時間枠、材料タイプごとの試験の定義、試験要件、すべての材料のサンプルの選出条件、試験の管理、欠陥の解決、玩具、電子機器、食品に触れる製品のための注意書き。
- 41 **電気および電子部品**
正常に機能するために電流または電磁場に依存するすべての部品のためのガイドンス
- 43 **玩具**
14才未満の子供を対象としたプレイバリューのある製品または材料のためのガイドンス
- 53 **製造化学ガイドンス**
Nikeの契約製造施設で使うことができない化学品に関するガイドンス
- 57 **サステナブルケミストリーガイドンス**
よりサステナブルな製品に繋がるイノベーションを提起、促進するようデザインされたNikeグリーンケミストリープログラムを含むガイドンス
- 65 **連絡先情報**
Nike認証ラボおよびNike RSL連絡先への連絡方法
- 69 **その他ガイドラインおよび方針**
抗菌、臭気キャプチャ技術、芳香成分、ナノテクノロジーや動物の皮革使用のための要件。
- 74 **フォーム**
Nikeグリーンケミストリープログラムのためのフォームなど

本文書に含まれる情報は機密でありNIKE, INCの専有情報です。NIKE, INCの書面による事前の同意なく、この情報の一部または全体を複製または配布することは、厳しく禁止されています。

COPYRIGHT © 2017 BY NIKE, INC. ALL RIGHTS RESERVED.



概要

消費者、労働者、環境を保護するというNIKE, Inc.のコミットメントの一部として、Nike制限物質一覧&サステナブルケミストリーガイドンスを更新しました。このバージョンおよび将来のアップデートは、Nikeの製造業者やサプライヤーに以下の情報を提供します：

- **制限物質一覧 (RSL)**。通常、最も厳しい世界的な法律に基づきます。
- **サステナブルケミストリーガイドンス (SCG)**。よりサステナブルな製品に繋がるイノベーションを提起、促進するようデザインされています。

Nike RSLおよびSCGの最終的な目標：

- 製品が最も厳しい世界的な法律に準拠することを確実にする。
- 対象となる物質が制限または根絶されていることを確実にする。
- サステナブルな製品イノベーションを発動させる。

また、本書には以下の情報も含まれます：

- Nikeグリーンケミストリープログラムの概要
- Nike製造制限物質一覧 (MRSL)
- Nikeナノテクノロジー要件
- Nike臭気管理ガイドライン
- Nike動物の皮革方針

Nike、Nike関連会社またはライセンシーの製品のために製造されるすべての材料は、リリース日から90日以内に、本文書の要件に準拠する必要があります。

詳細情報につきましては、Nike RSL 導入ガイドンス、27 ページを参照してください。

遵守

RSL導入ガイドラインの27ページには、各RSLアップデートが有効になる日付が一覧化されています。サプライヤー各社に対し、変更を理解し、適合するための十分なリードタイムを与えることを意図していますが、急な法制定などの特別の事情が発生する場合もあり、そのような場合には短期間での通知となることがあります。ここに記載されている試験実施プログラムは、最低限必要な試験です。サプライヤーは材料の追加無作為試験を実施することが推奨されます。

サプライヤー契約

Nikeサプライヤー契約はRSL要件への遵守の必要性を反映します。この遵守は当社の行動規範、品質基準やその他の健康および安全基準への補足となります。Nike、関連会社、ライセンシー製品で使用されるすべての材料はRSL要件に適合しなければなりません。



概要

特殊要件

- RSLの試験結果は特記がない限り試験の日付から1年間有効となります。Nikeは任意の時期、任意の材料に対し試験を要求する権利を留保します。
- 一旦、その材料に対してRSL合格が承認されたら、プロセスまたは化学品の変更は認められません。そうした変更がされた場合にはRSLの遵守を確認するための再試験が必要となります。
- サステナブルな製造 & 調達によって許可され、RSL試験要件を遵守している場合を除き、外注業者の使用は許可されていません。

2017年更新 RSL&化学品管理トレーニング

NikeサプライヤーおよびNike社内チームは2つのトレーニングを利用できます。

トレーニングへのアクセス方法の詳細はwww.nikeincchemistry.com/trainingを参照してください。

- **RSLトレーニング—すべての完成品工場および材料供給業者に必須です。**このオンラインセッションはNike RSL方針、RSLの実装、試験サンプルの選択、試験サンプルの送付、試験結果の確認、不合格解決プロセスの理解に重点をおいています。
- サプライヤーはRSLトレーニングを2年ごとに実行することが最善策です。また、RSLアップデートがリリースされる度に、トレーニングを見直すことが推奨されます。
- RSLトレーニングは再確認コースとして使用するため、またはサプライヤーの新入社員のトレーニングのために希望があれば利用可能となります。
- **化学品管理トレーニング—選択可能。**このトレーニングはNike製造制限物質一覧 (MRSL)に適合する配合物の調達、施設における化学品管理、化学品の危険度の評価、サステナブルな製造のためのツールやリソースのレビューに重点を置きます。

これらのトレーニングを完了した材料ベンダーには、**Nike材料サステナビリティインデックス (Nike MSI)ポイントが提供されます。**詳細情報に関しては、Nikeベンダーポータル (www.nikemsivp.com) にアクセスしてください。

2017年更新 NIKE材料サステナビリティインデックススコアリングの重要な変更

2016年、私たちは、Nike MSIにおけるNikeの化学品スコアリングの方法を更新し、2017年に展開できるようにしました。Nike MSIポイントを失効させることのないように、Nikeの材料を製造するすべてのベンダーができるだけ早くRSLトレーニングプログラムに参加する必要があります。ベンダーに提供される化学品の合計ポイントには、変更がありませんのでご注意ください。Nikeベンダーは更新された化学品スコアリングに関する完全な詳細情報をNikeベンダーポータル (www.nikemsivp.com) で確認できます。



概要

2017年新規 **NIKEはTHE AFIRM RSLを採用**

アパレル・フットウェアの化学に特化したアパレル・フットウェア業界団体である国際RSLマネジメント (AFIRM) グループは、2015年12月にAFIRM RSLをリリースしました。NikeはAFIRMの6つの創設メンバーの1社であり、同団体はグローバルサプライチェーンにおける危険物質および規制物質の管理を改善するために10年以上活動しています。（詳細情報はwww.afirm-group.comを参照してください。）

業界全体のRSLを作成する上でのAFIRMの目標は、広く共有されているグローバルサプライチェーン全体で規制対象物質を管理するための一貫したアプローチを提供することです。20以上のブランドの共同作業に基づき、AFIRM RSLは、無数にある複雑で時には矛盾するブランドのRSLを削減し、アプローチを簡素化し、化学物質の危険を削減する取り組みを加速します。

Nikeの製品製造に使用されたすべての材料に対するNike RSLの化学物質規制リストに代わり、NikeはAFIRM RSLを採用する運びとなりました。以前のNike RSLが安全な製品を作るための法律ならびに自主的なコミットメントに基づいていたのと同様に、AFIRM RSLは法律、業界のベストプラクティス、有害化学物質の自主的削減に基づいています。

変更

Nikeが実行してきたことは、ステップダウンアプローチを使って特定の化学物質を段階的に廃止することでした。私たちは、このアプローチを3つのクラスの化学物質に対し、AFIRM RSLの改訂版である2017年RSL更新でも引き続き使用します。これらのケースのそれぞれにおいて、「合格」と定義された制限値はAFIRM RSLと整合されており、サプライヤーにフォローアップし、これらのレベルが検出された場合には対応を取るよう警告を発するため、追加で「警告範囲」と表示します。その化学物質は次の通りです：

- Acetophenone & 2-Phenyl-2-Propanol (9ページ)
- APEOs (9ページ)
- Dioctyltin (20ページ)

Nike独自の制限

Nike独自の化学物質および材料の制限事項のリストはNike RSLに続き、25、26ページに記載されています。



2017年更新 RSL制限の理解のための年齢の範囲

多くの国で「Babies (乳児)」「Infants (幼児)」「Toddlers (トドラー)」「Children (子供)」「Adults (大人)」の用語を別々に定義しています。法律に基づき、表1の年齢の範囲は最も厳格なグローバル要件を満たします。

表1. サイズのための年齢の範囲

	Babies (乳児)、 Infants (幼児)、 Toddlers (トドラー)	Children (子供)		Adults (大人)
		Little Kids (リトルキッズ)	Big Kids (ビッグキッズ)	
	0-36月齢	3-7 才	7-14 才	14才以上
アパレルサイズ 米国	0-4T	4-7 男子 4-6x 女子	8-20 男子 7-14 女子	
アパレルサイズ ヨーロッパ	68-98 cm	104-128 cm	128-182 cm 男子 128-176 cm 女子	
アパレルサイズ アジア	<85 cm	85-120 cm	120-170 cm	
フットウェア	≤17 cm	17.5-22 cm	22.5-25 cm	
装飾品	Pee Wee	ジュニア	ユース	

NIKE RESTRICTED SUBSTANCES LIST

NIKE制限物質一覧

Nike Apparel、Footwear、Equipment
(ナイキ アパレル、フットウェア、
装飾品) に使用される材料および部
品のすべてに対する化学品の制限。

- 8 自主的化学品制限、段階的撤廃およびガイダンス
 - 9 NIKE制限物質一覧 (RSL)
 - 25 NIKE独自の化学物質および材料の制限
-



NIKE RESTRICTED SUBSTANCES LIST

NIKE 制限物質一覧

自主的化学品制限、段階的廃止およびガイド

Nikeは自主的に以下の化学品を制限または段階的に撤廃します：

- **Long-chain, C8-based perfluorinated chemicals (PFCs)**
NikeはC8ベースの過フッ素化合物の使用を段階的に減らし、2015年1月までに撤廃しました。
- **Polyvinyl Chloride (PVC)**
NikeはサプライチェーンからのPVCの段階的完全撤廃に2011年から取り組んでいます。
- **Alkylphenol Ethoxylates (APEOs) と Alkylphenols (APs)**
NikeはAPEOおよびAPの段階的廃止の継続にコミットしています。完成品に対するAPおよびAPEOの法制化された限度は1,000 mg/kgです。Nikeは現在の目標値を100 mg/kgとし、出荷不可限度を250 mg/kgとしています。Nikeは許可されるAPEOレベルを毎年削減し、100 mg/kgの目標に到達するようにします。
- **Organotins**
Nikeは、2016年以降、複数の有機スズ化合物を法律による制限以下に規制しています。
- **Dimethylformamide (DMFa)**
法律に先駆け、Nikeは全製品におけるDMFaの使用を2017年に制限します。
- **Medium Chain Chlorinated Paraffins (MCCPs)**
法律に先駆け、Nikeは材料におけるMCCPsの使用を2017年に制限します。
- **Chlororganic Carriers**
法律に先駆け、Nikeは2017年に材料の多くのクラスのクロロ有機担体を規制します。
- **抗菌剤および殺生剤**
Nikeにはすべての抗菌剤および殺生剤の使用に関する厳しいガイドがあります。これらの制限は9ページ以降のRSL表に記載されており、詳細情報はNike臭気管理、抗菌剤および香料ガイドラインの70ページに記載されています。
- **ナノマテリアル**
NikeにはNike製品における任意のナノマテリアルに関する厳しいガイドがあります。詳細情報はNikeナノテクノロジーマテリアルガイドラインの71ページを参照してください。
- **製造制限物質一覧 (MRSL)**
Nikeは製造業者がNike RSL要件に適合する製品を製造することを支援し、有害化学物質の排出ゼロ (ZDHC) 目標の達成をサポートするためにMRSLを拡張しました。MRSLはZDHC連盟のすべてのメンバーブランドと共同で開発されました。詳細情報については、54ページを参照し、www.roadmaptozero.com にアクセスしてください。



NIKE RESTRICTED SUBSTANCES LIST (RSL) / NIKE 制限物質一覧 (RSL)

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Acetophenone および 2-Phenyl-2-Propanol					
98-86-2	Acetophenone	50 ppm = 合格 >50-1,000 ppm = 警告範囲、要フォローアップ	25 ppm	過酸化ジクミルを架橋剤として使用した場合のEVAフォーム中の潜在的な分解生成物。	アセトンGC / MS中での抽出、60°Cで30分間の超音波処理
617-94-7	2-Phenyl-2-Propanol	>1000 ppm = 出荷不可			
Alkylphenol (AP) および Alkylphenol Ethoxylates (APEOs)、すべての異性体を含む					
104-40-5	Nonylphenol (NP)、混合異性体	合計：100 ppm	NPおよびOPの合計： 10 ppm	APEOは、以下の用途に使用、検出される場合があります：洗剤、精練剤、紡績油、湿潤剤、軟化剤、染料およびプリント用の乳化/分散剤、含浸剤、シルク生産用のデガミング、染料および顔料調製物、ポリエステルパディング、ダウン/フェザーのフィリング。	テキスタイル： EN ISO 18254-1:2016 皮革： EN ISO 18218-1:2015
11066-49-2					
25154-52-3					
84852-15-3					
140-66-9	Octylphenol (OP)、混合異性体	合計：100 ppm	NPおよびOPの合計： 10 ppm	APEOは、以下の用途に使用、検出される場合があります：洗剤、精練剤、紡績油、湿潤剤、軟化剤、染料およびプリント用の乳化/分散剤、含浸剤、シルク生産用のデガミング、染料および顔料調製物、ポリエステルパディング、ダウン/フェザーのフィリング。	
1806-26-4					
27193-28-8					
9002-93-1	Octylphenol Ethoxylates (OPEOs)	合計：100 ppm	NPおよびOPの合計： 10 ppm	APEOおよびAPEO含有製剤は、サプライチェーンおよび製造プロセス全体での使用が禁止されています。私たちは、APEOの残留濃度または微量濃度が100ppmを超えるレベルで見つかる可能性がまだあり、サプライチェーンが完全に段階的に排除するためには、より多くの時間が必要であることを認識しています。この制限値は、EUの立法案が反映されており、サプライヤーに継続的な改善のための事前の警告と方向性を提供するために設定されています。	
9036-19-5					
68987-90-6	Nonylphenol Ethoxylates (NPEOs)	NPEO/OPEO合計： 100 ppm = 合格 >100-250 ppm = 警告範囲、要フォローアップ >250 ppm = 出荷不可	NPEOとOPEOの合計： 20 ppm	APEOおよびAPEO含有製剤は、サプライチェーンおよび製造プロセス全体での使用が禁止されています。私たちは、APEOの残留濃度または微量濃度が100ppmを超えるレベルで見つかる可能性がまだあり、サプライチェーンが完全に段階的に排除するためには、より多くの時間が必要であることを認識しています。この制限値は、EUの立法案が反映されており、サプライヤーに継続的な改善のための事前の警告と方向性を提供するために設定されています。	
9016-45-9					
26027-38-3					
37205-87-1					
68412-54-4					
127087-87-0					



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Azo-amines					
92-67-1	4-Aminobiphenyl	それぞれ20 ppm	一覧に含まれるアミンごと (製品中) 10 ppm	Azo染料や顔料は芳香族化合物と結合した1つまたは複数のアゾ基 (-N=N-) が組み込まれた着色剤です。数千種類のAzo染料が存在する中で、分解されて開裂可能なアミンを形成するものだけが制限されます。これらのアミンを放出するAzo染料は規制されており、織物の染色には使用されるべきではありません。	<p>テキスタイル (EU): prEN ISO 14362-1-2015</p> <p>皮革 (EU): CEN ISO/TS 17234-1:2015</p> <p>p-Aminoazobenzene テキスタイル：EN 14362-1:2015</p> <p>皮革：17234-2:2011</p>
92-87-5	Benzidine				
95-69-2	4-Chlor-o-toluidine				
91-59-8	2-Naphthylamine				
97-56-3	o-Aminoazotoluene				
99-55-8	2-Amino-4-nitrotoluene				
106-47-8	p-Chloraniline				
615-05-4	2,4-Diaminoanisole				
101-77-9	4,4'-Diaminodiphenylmethane				
91-94-1	3,3'-Dichlorobenzidine				
119-90-4	3,3'-Dimethoxybenzidine				
119-93-7	3,3'-Dimethylbenzidine				
838-88-0	3,3'-dimethyl-4,4'-diaminodiphenylmethane				
120-71-8	p-Cresidine				
101-14-4	4,4'-Methylen-bis (2-chloraniline)				
101-80-4	4,4'-Oxydianiline				
139-65-1	4,4'-Thiodianiline				
95-53-4	o-Toluidine				
95-80-7	2,4-Toluylendiamine				
137-17-7	2,4,5-Trimethylaniline				
95-68-1	2,4 Xylidine				
87-62-7	2,6 Xylidine				
90-04-0	2-Methoxyaniline (= o-Anisidine)				
60-09-3	p-Aminoazobenzene				
106-49-0	p-Toluidine	Nike製品すべての追加スクリーニングテスト			
108-44-1	m-Toluidine	情報提供のみ			



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Bisphenol-A					
80-05-7	Bisphenol-A (BPA) 水のボトル、マウスガードを含む食品と接触するアイテムにはテストが必要となります。	1 ppm 食品と接触するアイテムの生産における単量体（モノマー）としての使用を禁止。	1 ppm	エポキシ樹脂、ポリカーボネートプラスチック、難燃剤、PVCの生産に使用されます。 口腔に接触することを意図した食品および飲料の容器およびアイテムに使用することは禁止されています。	サンプルの用意：抽出：1gサンプル/20mLメタノール、70°Cで60分間の超音波処理 計測：DIN EN ISO 18857-2 (mod)
Chlorinated Paraffin					
85535-84-8	Short-chain chlorinated Paraffins (SCCP) (C10-C13)	1,000 ppm	100 ppm	皮革製造時に難燃剤や加脂剤として使用される可能性があります。可塑剤として使用されることもあります。	EN ISO 18219:2016
85535-84-9	Medium-chain chlorinated Paraffins (MCCP) (C14-C17)	1,000 ppm	100 ppm		
Chlorophenols					
15950-66-0	2,3,4-Trichlorophenol	それぞれ0.5 ppm	それぞれ0.05 ppm	クロロフェノールは、防腐剤または農薬として使用されるポリ塩化合物です。ペンタクロロフェノール (PCP) とテトラクロロフェノール (TeCP) は、綿の栽培や衣類の保管・輸送の際にカビを防ぎ、虫を殺すために使用されることがあります。PCPおよびTeCPは、印刷ペースト中の防腐剤としても使用される場合があります。	1M KOH抽出、90°Cで12~15時間、誘導体化および分析 § 64 LFGB B 82.02-08または DIN EN ISO 17070:2015
933-78-8	2,3,5-Trichlorophenol				
933-75-5	2,3,6-Trichlorophenol				
95-95-4	2,4,5-Trichlorophenol				
88-06-2	2,4,6-Trichlorophenol				
609-19-8	3,4,5-Trichlorophenol				
4901-51-3	2,3,4,5-Tetrachlorophenol (TeCP)				
58-90-2	2,3,4,6-Tetrachlorophenol (TeCP)				
935-95-5	2,3,5,6-Tetrachlorophenol (TeCP)				
87-86-5	Pentachlorophenol (PCP)				



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Chlororganic Carriers					
95-49-8	2-Chlorotoluene	合計：1 ppm	0.1 ppm	クロロベンゼンおよびクロロトルエン（塩素化芳香族炭化水素）は、ポリエステルまたはウール/ポリエステル繊維の染色プロセスにおける担体として使用されることがあります。溶媒としても使用される場合があります。	DIN 54232:2010
108-41-8	3-Chlorotoluene				
106-43-4	4-Chlorotoluene				
32768-54-0	2,3-Dichlorotoluene				
95-73-8	2,4-Dichlorotoluene				
19398-61-9	2,5-Dichlorotoluene				
118-69-4	2,6-Dichlorotoluene				
95-75-0	3,4-Dichlorotoluene				
2077-46-5	2,3,6-Trichlorotoluene				
6639-30-1	2,4,5-Trichlorotoluene				
76057-12-0	2,3,4,5-Tetrachlorotoluene				
875-40-1	2,3,5,6-Tetrachlorotoluene				
877-11-2	Pentachlorotoluene				
541-73-1	1,3-Dichlorobenzene				
106-46-7	1,4-Dichlorobenzene				
87-61-6	1,2,3-Trichlorobenzene				
120-82-1	1,2,4-Trichlorobenzene				
108-70-3	1,3,5-Trichlorobenzene				
634-66-2	1,2,3,4-Tetrachlorobenzene				
634-90-2	1,2,3,5-Tetrachlorobenzene				
95-94-3	1,2,4,5-Tetrachlorobenzene				
608-93-5	Pentachlorobenzene				
118-74-1	Hexachlorobenzene				
95-50-1	1,2-Dichlorobenzene	10 ppm	1 ppm		



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Dimethylformamide					
68-12-2	Dimethylformamide (DMFa)	500 ppm	50 ppm	DMFaは、プラスチック、ゴム、ポリウレタン (PU) コーティングに使用される溶剤です。水性PUはDMFaを含まないため、より適切です。	DIN CEN ISO/TS 16189:2013
Dimethylfumarate					
624-49-7	Dimethylfumarate (DMFu)	0.1 ppm	0.05	DMFuは、特に輸送中のカビの発生を防止するために、パッケージングのサッシュェに使用される防カビ剤です。	CEN ISO/TS 16186:2012
染料 - 分散					
2475-45-8	C.I. 分散青1	禁止 (不純物としてそれぞれ 75 ppm)	15 ppm	分散染料は、合成繊維または製造繊維の繊維系に浸透し、化学結合を形成することなく物理的力によって保持される水不溶性染料の一種です。分散染料は、合成繊維 (例えば、ポリエステル、アセテート、ポリアミド) に使用されます。 制限される分散染料は、アレルギー反応を起こす疑いがあり、テキスタイルの染色には使用できません。	DIN 54231:2005
2475-46-9	C.I. 分散青3				
3179-90-6	C.I. 分散青7				
3860-63-7	C.I. 分散青26				
12222-75-2	C.I. 分散青35				
69766-76-6	C.I. 分散青102				
12223-01-7	C.I. 分散青106				
61951-51-7	C.I. 分散青124				
23355-64-8	C.I. 分散茶1				
2581-69-3	C.I. 分散橙1				
730-40-5	C.I. 分散橙3				
82-28-0	C.I. 分散橙11				
12223-33-5	C.I. 分散橙37/76/59				
13301-61-6					
51811-42-8					
85136-74-9	C.I. 分散橙149				



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
染料 - 分散 (続き)					
2872-52-8	C.I. 分散赤1	禁止 (不純物としてそれぞれ 75 ppm)	15 ppm	分散染料は、合成繊維または製造繊維の繊維系に浸透し、化学結合を形成することなく物理的力によって保持される水不溶性染料の一種です。分散染料は、合成繊維（例えば、ポリエステル、アセテート、ポリアミド）に使用されます。 制限される分散染料は、アレルギー反応を起こす疑いがあり、テキスタイルの染色には使用できません。	DIN 54231:2005
2872-48-2	C.I. 分散赤11				
3179-89-3	C.I. 分散赤17				
61968-47-6	C.I. 分散赤151				
119-15-3	C.I. 分散黄1				
2832-40-8	C.I. 分散黄3				
6300-37-4	C.I. 分散黄7				
6373-73-5	C.I. 分散黄9				
6250-23-3	C.I. 分散黄23				
12236-29-2	C.I. 分散黄39				
54824-37-2	C.I. 分散黄49				
54077-16-6	C.I. 分散黄56				
染料 — 酸性、塩基性、直接、その他					
3761-53-3	C.I. アシッドレッド26	禁止 (不純物としてそれぞれ 75 ppm)	15 ppm		DIN 54231:2005
569-61-9	C.I. 塩基性レッド9				
569-64-2	C.I. 塩基性グリーン4				
2437-29-8					
10309-95-2					
548-62-9	C.I. 塩基性バイオレット3				
632-99-5	C.I. 塩基性バイオレット14				
2580-56-5	C.I. 塩基性ブルー26				
1937-37-7	C.I. 直接黒38				
2602-46-2	C.I. 直接青6				
573-58-0	C.I. 直接赤28				
16071-86-6	C.I. 直接茶95				
60-11-7	4-Dimethylaminoazobenzene (溶媒黄2)				



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
染料 — 酸性、塩基性、直接、その他 (続き)					
6786-83-0	C.I. 溶媒青4	禁止 (不純物としてそれぞれ 75 ppm)	15 ppm		DIN 54231:2005
561-41-1	4,4'-bis (dimethylamino)-4''- (methylamino)trityl alcohol				
染料 — ネイビーブルー					
118685-33-9	成分 1 : C39H23ClCrN7O12S.2Na	それぞれ75 ppm (補完試験のみ)	10 ppm	ネイビーブルーの着色剤は 規制されており、織物の染 色には使用できません。 (インデックス 611-070- 00-2)	DIN 54231:2005
割り当てなし	成分 2 : C46H30CrN10O20S2.3Na				
難燃剤					
126-72-7	Tris- (2,3-dibromopropyl) phosphate (TRIS) (126-72-7)	合計 : 5 ppm	合計 : 5 ppm	難燃性化学物質は、子供の 衣類や大人用製品の難燃性 要件を満たすために使用さ れることはめったにありま せん。これらの物質はアパ レルおよびフットウェアで 使用されるべきではありません。	Methanol抽出、GC/MS
545-55-1	Tris (1-aziridinyl)phosphine oxide (TEPA)				LC-MS
32534-81-9	Pentabromodiphenyl ether (PentaBDE)				アセトニトリル抽出、 LC-DAD-MSおよびGC/MS との確認
32536-52-0	Octabromodiphenyl ether (OctaBDE)				
1163-19-5	Decabromodiphenyl ether (DecaBDE)				
79-94-7	Tetrabromobisphenol A (TBBP A)				
115-96-8	Tris (2-chloroethyl)phosphate (TCEP)				
59536-65-1	Polybromobiphenyls (PBB)				
5412-25-9	Bis (2,3-dibromopropyl) phosphate (BDBPP)				
3194-55-6	Hexabromocyclododecane (HBCDD)				
3296-90-0	2,2-bis (bromomethyl)-1,3-propanediol (BBMP)				
13674-87-8	Tris (1,3-dichloro-isopropyl) phosphate (TDCPP)				
25155-23-1	Trixylyl phosphate (TXP)				Methanol抽出、GC/MS



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Fluorinated Greenhouse Gases					
各種	完全なリストは規則 (EC) No 842/2006を参照してください。	それぞれ0.1 ppm	それぞれ0.1 ppm	サプライチェーンで意図的に使用されるべきではない	サンプルの用意：パーズおよびトラップ - 昇温脱離またはSPME 計測：GC/MS
Formaldehyde					
50-00-0	Formaldehyde	大人および子供：75 ppm 乳幼児（インファント/トドラー）16 ppm 範囲およびサイズについては6ページの表1を参照してください。	16 ppm	テキスタイルではしわ防止および収縮抑制剤として使用されます。また、ポリマー樹脂によく使用されます。	テキスタイル： JIS L 1041-1983 A (日本の法律 112) または EN ISO 14184-1:2011 皮革：ISO 17226-2:2008 および ISO 17226-1:2008 干渉があった場合の確認方法。
金属					
7440-36-0	Antimony (Sb)	抽出可能：30 ppm	3 ppm	ポリエステル、難燃剤、定着剤、顔料および合金の重合に触媒として検出または使用されます。	サンプルの用意： EN ISO 105-E04:2013 計測：EN ISO 17294-2:2014
7440-38-2	Arsenic (As)	抽出可能：30 ppm 合計：100 ppm	抽出可能：0.02 ppm 合計：10 ppm	ヒ素およびその化合物は、綿、合成繊維、塗料、インク、トリムおよびプラスチックの防腐剤、農薬および枯葉剤に使用されることがあります。	サンプルの用意： 抽出可能： テキスタイル：EN ISO 105-E04:2013 皮革：DIN EN ISO 17072-1:2014 合計：H2O2 / HNO3によるマイクロ波消化 計測：EN ISO 17294-2:2014



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
金属、続き					
7440-39-3	Barium (Ba)	抽出可能：1,000 ppm	抽出可能：100 ppm	バリウムおよびその化合物は、インク、プラスチック、表面コーティング、ならびに染色、媒染剤、プラスチック中の充填剤、テキスタイルの仕上げ、および皮革なめし用の顔料に使用されることがあります。	サンプルの用意 抽出可能： テキスタイル：EN ISO 105-E04:2013 皮革：DIN EN ISO 17072-1:2014 計測： EN ISO 17294-2:2014
7440-43-9	Cadmium (Cd)	抽出可能：0.1 ppm 合計： 大人：75 ppm 子供、幼児/トドラー 40 ppm	抽出可能：0.05 ppm 合計：5 ppm	カドミウム化合物は顔料として（特に赤、橙、黄、緑で）使用されます。PVCの安定剤として肥料、殺生物剤および塗料に含まれます。 次の更新では、合計40ppmに制限されます。	サンプルの用意：抽出可能： テキスタイル：EN ISO 105-E04:2013 皮革：DIN EN ISO 17072-1:2014 合計：H2O2 / HNO3によるマイクロ波消化 計測：EN ISO 17294-2:2014
7440-47-3	Chromium (Cr)	テキスタイル用に抽出可能：1 ppm 幼児/トドラー用の皮革製フットウェア：60 ppm	抽出可能：0.5 ppm	クロム化合物は、染色添加剤、染料固定剤、色堅牢性後処理剤、羊毛、絹およびポリアミド（特に暗色の色調）、皮革のなめし用染料として使用されることがあります。	サンプルの用意： EN ISO 105-E04:2013 計測：EN ISO 17294-2:2014
18540-29-9	Chromium VIスクリーニングテスト	天然皮革およびコーティングされた皮革製品 合計Cr VIのためのスクリーニングテスト	スクリーニングレベルのみ。Cr 合計が>3 ppmと判明した場合Cr (VI)を分析	一般的には皮革のなめしに関連しますが、クロムVIはクロム処理の後にウールの染色に使用されることがあります。	サンプルの用意： テキスタイル：EN ISO 105-E04:2013 EN 17075-1:2015 計測： テキスタイル：EN ISO 17294-2:2014 皮革：EN 17075-1:2015 エージング試験はブランドの裁量で実施されます。



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
金属、続き					
18540-29-9	Chromium VI	皮革：3 ppm 幼児/トドラーのためのニットテキスタイル 0.5 ppm	皮革：3 ppm ニットテキスタイル：0.5 ppm	一般的には皮革のなめしに関連しますが、クロムVIはクロム処理の後にウールの染色に使用されることがあります。	サンプルの用意： テキスタイル：EN ISO 105-E04:2013 EN 17075-1:2015 計測： テキスタイル：EN ISO 17294-2:2014 皮革：EN 17075-1:2015 エージング試験はブランドの裁量で実施されます。
7440-48-4	Cobalt (Co)	抽出可能：1 ppm	0.1 ppm	コバルトおよびその化合物は、合金、顔料、染料、プラスチックボタンの製造に使用されることがあります。	サンプルの用意： EN ISO 105-E04:2013 計測：EN ISO 17294-2
7440-50-8	Copper (Cu)	抽出可能：25 ppm	0.5 ppm	銅およびその化合物は、合金および顔料、および繊維において抗菌剤として検出されることがあります。	サンプルの用意： EN ISO 105-E04:2013 計測：EN ISO 17294-2:2014
7439-92-1	Lead (Pb)	抽出可能： 大人および子供：1 ppm 幼児/トドラー：30 ppm 合計：90 ppm 表面のコーティング中の鉛：90 ppm 子供用製品 (12歳まで) 含む	抽出可能：0.1 ppm 合計：50 ppm	プラスチック、塗料、インク、顔料、表面コーティングに関連していることがあります。	サンプルの用意： 抽出可能：EN ISO 105-E04:2013 合計：H2O2 / HNO3によるマイクロ波消化 塗料および表面コーティングにおける鉛：CPSIA セクション 101 16 CFR 1303 計測：EN ISO 17294-2:2014
7439-97-6	Mercury (Hg)	抽出可能：0.02 ppm 合計：0.5 ppm	抽出可能：0.005 ppm 合計：0.1 ppm	水銀化合物は、苛性ソーダ (NaOH) 中の農薬および汚染物質として存在することがあります。塗料中に使用されることもあります。	サンプルの用意： 抽出可能：EN ISO 105-E04:2013 合計：H2O2 / HNO3によるマイクロ波消化 計測：EN ISO 17294-2:2014



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
金属、続き					
7440-02-0	Nickel (Ni)	抽出可能：1 ppm	0.1 ppm	ニッケルおよびその化合物は、合金をめっきし、合金の耐腐食性および硬度を改善するために使用されることがあります。また、顔料および合金中の不純物として存在する場合があります。	サンプルの用意： テキスタイル：EN ISO 105-E04:2013 金属パーツ： EN 12472:2005+ A1:2009 計測： テキスタイル：EN ISO 17294-2:2014
7440-02-2	Nickel (Ni) Release	皮膚に直接かつ長時間接触する金属アイテム： 0.5 µg/cm ² /週 ピアスパーツ：週あたり 0.2 µg/cm ² めがねフレーム： 週あたり0.76 µg/cm ²	0.20 µg/cm ² /週		金属パーツ： EN: 1811 + A1:2015 めがねフレーム： EN 16128:2015
7782-49-2	Selenium (Se)	抽出可能：500 ppm	50 ppm	合成繊維、塗料、インキ、プラスチック、メタルトリムに存在する場合があります。	サンプルの用意： EN ISO 105-E04:2013 計測： EN ISO 17294-2:2014
7440-31-5	錫スクリーニング (全材料)	錫0.1 mg/kg 錫>0.1mg / kgの場合、 有機錫分析が必要	0.1 ppm	金属アイテム、コーティング、ポリマー、塗料および接着剤に見られることがあります。	サンプルの用意： 抽出可能： テキスタイル： EN ISO 105-E04:2013 計測： EN ISO 17294-2:2014



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
単量体 (モノマー)					
100-42-5	Styrene	500 ppm	50 ppm	スチレンは重合の前駆体であり、プラスチックボタンのような種々のスチレンコポリマーに存在することがあります。	120°Cで1時間ヘッドスペース溶媒抽出GC-MS; 60度でのメタノール抽出
N-Nitrosamines					
62-75-9	N-nitrosodimethylamine (NDMA)	それぞれ0.5 ppm	それぞれ0.5 ppm	ゴムの製造において副生成物として形成されることがあります。	GB/T 24153-2009: GC / MS またはLC / MSを用いた測定
55-18-5	N-nitrosodiethylamine (NDEA)				
621-64-7	N-nitrosodipropylamine (NDPA)				
924-16-3	N-nitrosodibutylamine (NDBA)				
100-75-4	N-nitrosopiperidine (NPIP)				
930-55-2	N-nitrosopyrrolidine (NPYR)				
59-89-2	N-nitrosomorpholine (NMOR)				
614-00-6	N-nitroso N-methyl N-phenylamine (NMPHA)				
612-64-6	N-nitroso N-ethyl N-phenylamine (NEPHA)				
Organotin Compounds					
	金属セクションの錫スクリーニングテストも参照のこと				
各種	Dibutyltin (DBT)	1 ppm	それぞれ0.1 ppm	錫と有機物を結合する化学物質のクラス (ブチル、フェニルなど)。有機スズは、海洋塗料中の防汚剤として環境内で主に検出されますが、殺生物剤 (例えば、抗菌剤)、プラスチックおよび接着剤製造における触媒、ならびにプラスチック/ゴム中の熱安定剤として使用されることもあります。テキスタイルや衣類では、有機スズはプラスチック/ゴム、インク、塗料、メタリックグリッター、ポリウレタン製品、伝熱材料と関連付けられています。	CEN ISO/TS 16179:2012
各種	Diocetyl tin (DOT)	1 ppm = 合格 >1-50 ppm = 警告範囲、 要フォローアップ >50 ppm = 出荷不可			
各種	Monobutyltin (MBT)	1 ppm			
各種	Tributyltin (TBT)	それぞれ0.5 ppm			
各種	Triphenyltin (TPhT)				
各種	その他すべての三置換有機スズ化合物	それぞれ1 ppm			



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Ortho-phenylphenol					
90-43-7	Ortho-phenylphenol (OPP)	1,000 ppm	100 ppm	OPPIは、皮革の防腐物質または染色プロセスにおける担体として使用されることがあります。	サンプルの用意： § 64 BVL B 82.02.08 計測：GC-MS、LC-MSで確認
クラスIおよびIIのオゾン層破壊物質					
各種	完全なリストは規則 (EC) No 1005/2009を参照してください。	禁止	不定	オゾン層破壊物質の使用は禁止されています。	GC / MSヘッドスペース、120°Cで45分間
Perfluorinated および Polyfluorinated Chemicals (PFCs)					
2015年1月1日以降、C8ベースのペルフルオロ化学物質はNikeの材料や製品に使用することが禁止されています。					
2795-39-3	Perfluorooctane Sulfonate (PFOS)	撥水加工仕上げが施された全材料： それぞれ1 µg/m ²	それぞれ1 µg/m ²	PFOAおよびPFOSは、長鎖の商業用の水、油、汚れの防止剤中の意図されない副生成物として存在することがあります。PFOAはまた、ポリテトラフルオロエチレン (PTFE) のようなポリマーにも使用されることがあります	CEN/TS 15968:2014
3825-26-1	Perfluorooctanoic Acid (PFOA) およびその塩およびエステル				
農薬					
各種	AFIRM RSLの付録Aの農薬リストを参照してください。 http://afirm-group.com/afirm-rsl/	それぞれ0.5 ppm	不定	天然繊維、主に綿で検出される場合があります。	ISO 15913/DIN 38407 F2 または EPA 8081/EPA 8151A または BVL L 00.00-34:2010-09



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Phthalates					
28553-12-0	Di-Iso-nonylphthalate (DINP)	それぞれ500 ppm 合計：1,000 ppm	それぞれ50 ppm	<p>オルトフタル酸のエステル（フタル酸エステル）は、一般に柔軟性を高めるためにプラスチックに添加される有機化合物の一種です。溶融温度を低下させることによってプラスチックの成形を容易にするために使用されます。</p> <p>フタル酸エステルは以下で検出されることがあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 可撓性プラスチック構成要素（例：PVC） • 印刷ペースト • 接着剤 • プラスチックボタン • プラスチックのスリーブリング • ポリマーコーティング <p>リストに記載されているフタル酸エステルは、業界全体で最も一般的に使用されているものです。法律で規制されているフタル酸エステルの詳細については、頻繁に更新されるREACH SVHCリストを参照してください。</p>	<p>サンプルの用意： CPSC-CH-C1001-09-3 計測： テキスタイル：GC-MS, EN ISO 14389:2014 皮革：GC-MS</p>
117-84-0	Di-n-octylphthalate (DNOP)				
117-81-7	Di (2-ethylhexyl)-phthalate (DEHP)				
26761-40-0	Diisodecylphthalate (DIDP)				
85-68-7	Butylbenzylphthalate (BBP)				
84-74-2	Dibutylphthalate (DBP)				
84-69-5	Diisobutylphthalate (DIBP)				
68515-42-4	Di (C7-C11 alkyl) phthalate (DHNUP)、直鎖+分岐				
71888-89-6	Di (C6-C8 alkyl) phthalate (DIHP)、分岐、高C7				
117-82-8	Di (2-methoxyethyl) phthalate (DMEP)				
84-75-3	Di-n-hexylphthalate (DnHP)				
84-66-2	Diethylphthalate (DEP)				
605-50-5	Diisopentylphthalate (DIPP)				
776297-69-9	n-Pentylisopentylphthalate (NPIPP)				
131-18-0	Di-n-pentylphthalate (DPP)				
68515-50-4	Dihexylphthalate分岐 + 直鎖				
131-11-3	Dimethylphthalate (DMP)				
84777-06-0	1,2-Benzenedicarboxylic acid, dipentylester分岐 + 直鎖				



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Polycyclic Aromatic Hydrocarbons (PAHs)					
83-32-9	Acenaphtene	個別の制限 はなし	合計： 10 ppm	それぞれ0.2 ppm	AFPS GS 2014
208-96-8	Acenaphthylene				
120-12-7	Anthracene				
191-24-2	Benzo (g,h,i)perylene				
86-73-7	Fluorene				
206-44-0	Fluoranthene				
193-39-5	Indeno (1,2,3-cd)pyrene				
91-20-3	Naphthalene**				
85-01-8	Phenanthrene				
129-00-0	Pyrene				
56-55-3	Benzo (a)anthracene	それぞれ 1 ppm			
50-32-8	Benzo (a)pyrene				
205-99-2	Benzo (b)fluoranthene				
192-97-2	Benzo[e]pyrene				
205-82-3	Benzo[j]fluoranthene				
207-08-9	Benzo (k)fluoranthene				
218-01-9	Chrysene				
53-70-3	Dibenzo (a,h)anthracene				

PAHsは原油の天然成分であり、石油精製の一般的な残留物です。PAHsは自動車のタイヤやアスファルトに似た特徴的な臭いがあります。PAHsを含む油性残渣は、軟化剤または増量剤としてゴムおよびプラスチックに加えられ、ゴム、プラスチック、ラッカーおよびコーティング中に見られることがあります。PAHsは、靴のアウトソールやスクリーン印刷用の捺染ペーストによく見られます。PAHsは、カーボンブラック中に不純物として存在することがあります。また、再処理中のリサイクルされた材料の熱分解から形成されることがあります。

**Naphthalene: 繊維質染料用の分散剤は、低品質のナフタレン誘導体（例えば、品質の悪いナフタレンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合生成物）の使用のために、高い残留ナフタレン濃度を含有することがあります。



NIKE RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Volatile Organic Compounds (VOCs)					
71-43-2	Benzene	5 ppm	1 ppm	<p>これらのVOCは、テキスタイルの補助化学処理では使用しないでください。</p> <p>これらは溶剤ベースのポリウレタンコーティングや接着剤/接着剤などの溶剤ベースのプロセスにも関連しています。</p> <p>いかなる施設清掃やスポット清掃にも使用しないでください。</p>	<p>一般的VOCスクリーニング：GC / MSヘッドスペース、120°C、45分間</p> <p>DMACを除く：DIN CEN ISO/TS 16189:2013</p>
56-23-5	Carbon tetrachloride	合計：1,000 ppm	それぞれ20 ppm		
67-66-3	Chloroform				
107-06-2	1,2-Dichloroethane				
75-35-4	1,1-Dichloroethylene				
127-19-5	Dimethylacetamide (DMAC)				
76-01-7	Pentachloroethane				
630-20-6	1,1,1,2- Tetrachloroethane				
79-34-5	1,1,2,2- Tetrachloroethane				
127-18-4	Tetrachloroethylene (PER)				
108-88-3	Toluene				
71-55-6	1,1,1- Trichloroethane				
79-00-5	1,1,2- Trichloroethane				
79-01-6	Trichloroethylene				
1330-20-7	Xylenes (meta-, ortho-, para-)				



NIKE独自の化学物質および材料の制限

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値（ラボでの使用のため）	潜在的用途 アパレル & フットウェアのためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
その他の制限					
なし	pH	全製品 テキスタイル材料 4.0 – 7.5	4.0 – 7.5	pHは物質属性であり、添加された化学物質ではありません。	AATCC 81 GB/T7573-2009
9002-86-2	Polyvinyl-chloride (PVC)	全製品および全材料での使用が禁止されています。	分析が複雑であることからNikeは検出限度を10%と定義します。	プラスチック製品、フレキシブルプラスチック、スクリーン印刷インキ。	確認のため2つの試験を実施： Beilsteinテスト* 塩素の有無を確認するための燃焼試験。 赤外分析* 溶媒抽出の有無にかかわらず、分光法(IR)。 両方の試験で陽性の結果が出た場合PVCを示す。 * PVC試験方法は、定性的であるため、10%の限度は推定される感度です。
Asbestos					
77536-66-4	Actinolite	検出されず	該当なし。有無のみ。	意図的な使用なし。	顕微鏡検査：最小倍率1-250、偏光フィルタ付き、繊維の長さ & 直径の比率は少なくとも3:1。
12172-73-5	Amosite				
77536-67-5	Anthrophyllite				
12001-29-5	Chrysotile				
12001-28-4	Crocidolite				
77536-68-6	Tremolite				



NIKE固有の化学物質および材料の制限 (続き)

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Dioxins および Furans					
40321-76-4	1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzo-p-dioxin	グループ1			
57117-31-4	2,3,4,7,8-Pentachlorodibenzofuran				
51207-31-9	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzofuran				
1746-01-6	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo-p-dioxin	グループ1の合計： 1 µg/kg			
70648-26-9	1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzofuran				
39227-28-6	1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzo-p-dioxin				
57117-44-9	1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran	グループ2			
57653-85-7	1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzo-p-dioxin				
72918-21-9	1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzofuran				
19408-74-3	1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzo-p-dioxin	グループ1と2の合計： 5 µg/kg			
57117-41-6	1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzofuran				
60851-34-5	2,3,4,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran				
39001-02-0	1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzofuran	グループ3	同族体当たり (Dioxin またはFuran)	アパレルまたはフットウェアの製造での意図的な使用なし。	USEPA 8290
3268-87-9	1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzo-p-dioxin				
67562-39-4	1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzofuran				
35822-46-9	1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzo-p-dioxin	グループ1、2、3の合計： 100 µg/kg			
55673-89-7	1,2,3,4,7,8,9-Heptachlorodibenzofuran				
109333-34-8	1,2,3,7,8-Pentabromodibenzo-p-dioxin				
131166-92-2	2,3,4,7,8-Pentabromodibenzofuran	グループ4			
67733-57-7	2,3,7,8-Tetrabromodibenzofuran				
50585-41-6	2,3,7,8-Tetrabromodibenzo-p-dioxin				
110999-44-5	1,2,3,4,7,8-Hexabromodibenzo-p-dioxin	グループ4の合計： 1 µg/kg			
110999-45-6	1,2,3,6,7,8-Hexabromodibenzo-p-dioxin				
110999-46-7	1,2,3,7,8,9-Hexabromodibenzo-p-dioxin				
107555-93-1	1,2,3,7,8-Pentabromodibenzofuran	グループ5			
		グループ4および5の合計： 5 µg/kg			

NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入ガイドランス

全材料および製品のための包括的試験ガイドランス

- 28 範囲
サンプル選別基準
- 29 材料試験マトリックス
- 32 テキスタイル：天然、合成または混繊維
- 33 皮革および合成皮革
- 34 プラスチック、熱可塑性プラスチックおよび
ポリマー：EVA、PU、硬質プラスチック、ラ
ミネート、フォーム、ゴム
- 36 インク、塗料、および接着剤
スクリーンプリントインク、熱転写と同様の
装飾
- 38 デジタルおよび昇華プリント
ディメンション溶接
金属パーツ
その他：ラインストーン、スパンコール等
販売促進無料提供品
- 39 玩具、電子および電気機器、食品接触材料
試験の管理
- 40 欠陥の解決



NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイド

このセクションには、試験サンプルの選出に関する詳細な指示が記載されています。

- 材料の試験は義務です。
- 以下の導入ガイドは、Nikeに材料またはアイテムを供給するために必要な最小限の試験を示しています。
- 全材料、アイテム、および完成品は、Nike RSLに詳述されている制限に従わなければなりません。

範囲

Nike、Nike関連会社またはライセンシーの製品のために製造されるすべての材料、アイテムおよび完成品は、リリース日から90日以内に、本文書の要件に準拠する必要があります。本文書は随時更新されます。要件が変更される場合、サプライヤーが適合するための時間を提供するため、当社は有効期限の開始日を発表します。本文書の最新バージョンは www.nikeincchemistry.com/restricted-substance-list で閲覧可能です。

RSLテストサンプルはすべて、66ページと67ページに掲載されているNike認定のラボラトリーに送付する必要があります。各材料は、それぞれのNike RSL 試験パッケージに対して試験されます。

Nike RSL試験要求フォーム (TRF)をラボに送付するすべてのサンプルに添付しなければなりません。これは、試験および報告がNikeのスタンダードに見合うことを確認し、当社が当社サプライヤーの代わりに交渉した特別価格を取得するためです。承認ラボ一覧に記載のないラボからのデータは、遵守証明として受け付けられません。現行のTRFは www.nikeincchemistry.com からダウンロードできます。

サンプル選別基準

試験サンプルは材料のタイプ、厚さ、色および/またはスタイルに基づき選別されます。場合によっては、同じ基準を使用して2つの材料を選択することもできますが、ラボでは別々の方法でテストされます。例えば天然の皮革および合成皮革はどちらも、厚さ、表面の処理、色に基づき選択されますが、この2つのベースとなる化学品が異なるため、ラボでの試験は別々に実施されます。

ページ 29:の材料試験マトリックスには、2種類のテストが掲載されています：

- **中核試験。** 物質は、法律またはNike要件によって制限され、かつ、その材料タイプの製造プロセスで従来から使用されてきたものであること。材料が試験のために提出されると、材料試験マトリックスの中核試験としてリストアップされた化学物質は、RSL試験機関によって自動的に試験されます。
- **補完試験。** 物質は、法律またはNike要件によって制限されているものの、見つからない可能性が高く、その材料タイプの製造では従来から使用されていないものであること。「補完」試験を要するアイテムは、要件遵守を確認する意味で無作為に試験される必要があります。

注記：ラボラトリーは材料試験マトリックスに補完としてリストされた化学物質を自動的に試験しません。これらの化学試験は試験依頼書で依頼する必要があります。

試験が中核または補完のいずれの場合でも、すべての材料、アイテム、完成品は、RSLの要件に適合しなければなりません。

材料試験マトリックスは、各材料タイプが中核または補完試験が求められるかどうかを示します。特定の材料タイプの試験サンプル選出に関して述べた、専用ガイドは以下のページにあります。年齢の範囲とサイジングの説明については、必要に応じて、6ページの表1を参照してください。



材料試験マトリックス

制限物質	天然繊維	合成繊維 ナイロン、PET	天然および合成繊維混	合成皮革、熱可塑性プラスチック、ポリマー EVA、PU、硬質プラスチック、TPU、フォーム、ゴム	天然皮革	表面加工された皮革	インク、塗料、熱転写 スクリーンプリントインク	接着剤	スクリーンプリント、ストライクオフ	昇華プリント、デジタルプリント	金属アイテム	その他 ラインストーン、スパンコール等
Acetophenone および 2-Phenyl-2-Propanol				S-5								
Alkylphenol Ethoxylates (NPEO, OPEO)	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		
Alkylphenols (NP, OP)	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S		
Asbestos	S	S	S									
Azo-amines	C-8	S	C-8	S	C-8	C-8	C-1, C-8			C-8		
Bisphenol-A				S-6								
Chlorinated Paraffin					S	S						
Chlorophenols	S		S		S	S						
Chlororganic Carriers		S	S									
Dimethylformamide				S								
Dimethylfumarate					S	S						
Dioxins および Furans	禁止											
染料 (酸性、塩基性、直接、その他)	S	S	S	S							S	
染料 - (分散)		C-8	C-8	S							C-8	



材料試験マトリックス、続き

制限物質	天然繊維	合成繊維 ナイロン、PET	天然および合成繊維混	合成皮革、熱可塑性プラスチック、ポリマー EVA、PU、硬質プラスチック、TPU、フォーム、ゴム	天然皮革	表面加工された皮革	インク、塗料、熱転写 スクリーンプリントインク	接着剤	スクリーンプリント、ストライクオフ	昇華プリント、デジタルプリント	金属アイテム	その他 ラインストーン、スパンコール等
染料（ネイビーブルー）	S	S	S	S	S	S	S			S		
難燃剤	S	S	S	S								
Fluorinated Greenhouse Gases	禁止											
Formaldehyde	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		C-3
Metals (Chromium VI)					C-4	C-4						
金属（抽出可能）	C	C	C									
金属 (Nickel - Release)											C	C-3
金属（合計）	S	S	S	C	C	C	C	C		C	C	C-3
単量体（モノマー）				S-7								S-7
N-Nitrosamines				S								
Organotin Compounds	S-2	S-2	S-2	C-2	C-2	C-2	C-2	C-2		C-2		
Ortho-phenylphenol					S	S						
オゾン層破壊物質	禁止											
農薬	S		S									



材料試験マトリックス、続き

制限物質	天然繊維	合成繊維 ナイロン、PET	天然および合成繊維混	合成皮革、熱可塑性プラスチック、ポリマー EVA、PU、硬質プラスチック、TPU、フォーム、ゴム	天然皮革	表面加工された皮革	インク、塗料、熱転写 スクリーンプリントインク	接着剤	スクリーンプリント、ストライクオフ	昇華プリント、デジタルプリント	金属アイテム	その他 ラインストーン、スパンコール等
Perfluorinated および Polyfluorinated Chemicals	PFOAおよびPFOS撥水加工材の中核試験											
pH	S	S	S									
Phthalates				C		C	C	C	C	C		C-3
Polycyclic Aromatic Hydrocarbons (PAHs)				S			S					
Polyvinyl-chloride (PVC)				C		C	C	C	C	C		C-3
Volatile Organic Compounds (VOCs)				S			S	S				

C = 中核試験	C-1 = スクリーンプリントインクのみ	C-4 = Cr 合計スクリーニングが >3-mg/kgの場合、Cr (VI)を分析
	C-2 = サンプル中のTinが >0.1 mg/kgの場合	C-8 = 白色繊維材料での染料の試験は中核試験ではない。補完試験のみ
	C-3 = 中核試験は材料によって異なる; ラボまたは Nike RSL チームに相談	
S = 補完試験	S2 = サンプル中のTinが >0.1 mg/kgの場合	S-6 = 食品や口腔に触れるアイテムのみ
	S-5 = EVA フォームのみ	S-7 = ABS 材料中のStyrene

注記： 追加的試験パッケージは、合成繊維、天然繊維、金属糸および接着剤を含有することがある織布クレスト等複数の材料タイプを含むアイテムにより利用できます。これらのパッケージは、試験要求フォームに付帯しており、非常に特殊なケースでのみ使用されます。



NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイダンス

図1. テキスタイルの試験ガイダンス
天然、合成または混繊維

テキスタイル

皮膚に直接または間接的に接触する天然、合成または混繊維。

ルーチン試験

すべてのアパレル、フットウェア、装飾品の材料およびすべてのデニム。シーズンベースで固有の材料/色の組み合わせの合計数の5%の材料を選択します。

無作為試験

ベンダーおよび工場は任意の色のアパレル、フットウェア、装飾品の材料を無作為に確認します。

デニムに関する特記

デニム材料は、オーバーダイ、研磨および酸洗浄を含み、またこれに限定されない任意の衣服処理後に試験されなければなりません。この試験は製造準備が整った材料を代表するようなサンプルに対して実施します。

テキスタイル：天然、合成または混繊維

Nike RSLは1つのテキスタイルを以下のものの組み合わせと定義します：

- 材料
- 色
- 構造
- 縦糸または横糸
- ベンダー（材料サプライヤー）
ロケーション

さらに、各テキスタイルのタイプ（天然、合成または混構成）およびケミカル仕上げは固有の独立した材料だと考えられます。例えば、100%綿、100%ポリエステル、60/40綿/ポリ、50/50綿/ポリ等はすべて唯一無二の独立した材料で、ルーチンおよび/または無作為試験の対象となります。

シーズンごとに、サプライヤーは全天然、合成、混繊維もしくは、これらの繊維から成る材料の5%を試験しなければなりません。固有の材料/色の組み合わせに基づき、最も製造量の多い材料を選択します。例えば、100種の独自の材料/色の組み合わせを1シーズンに製造するサプライヤーは、製造量上位5つの独自の材料/色の組み合わせを試験しなければなりません。試験ガイダンスは図1および表2にまとめてあります。

注記： 計算を伴う値の場合は、計算結果は最高の整数に切り上げなければなりません。例えば、45の材料/色の組み合わせ $\times 5\% = 2.25$ の場合、2ではなく3つの試験が必要です。

現シーズン生産量による順位付けが不可能な場合は、前シーズンからの材料数を計算し、それを現在のシーズンの基礎として使用します。前年度のRSLテストに合格していないハイボリューム材料に焦点を当てて試験を実施します。

材料フェーズなく、ヤーン（糸）から完成品に製造されたアイテムに関するガイダンスは RSLSupport@nike.com までご連絡ください。

表 2. テキスタイルの試験サンプルの数の計算

材料の識別	線ヤード	色の組み合わせの合計数	この材料を試験しますか？	試験を要するものの合計数
固有の材料/色組み合わせ 1	50,000	100	はい	材料の識別列に表示の通り、サプライヤーは100の固有の材料/色の組み合わせを製造します。 5%の試験を要する = 合計の試験は 5
固有の材料/色組み合わせ 2	25,000		はい	
固有の材料/色組み合わせ 3	40,000		はい	
固有の材料/色組み合わせ 4	15,000		はい	
固有の材料/色組み合わせ 5	60,000		はい	
固有の材料/色組み合わせ 6	2,200		いいえ	
固有の材料/色組み合わせ 7	1,000		いいえ	
材料 8-100 92種類の材料	20,000 の 組み合わせ		いいえ	線ヤード列に表示の通り、製造量上位5つの材料を選択します。



NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイダンス

皮革および合成皮革

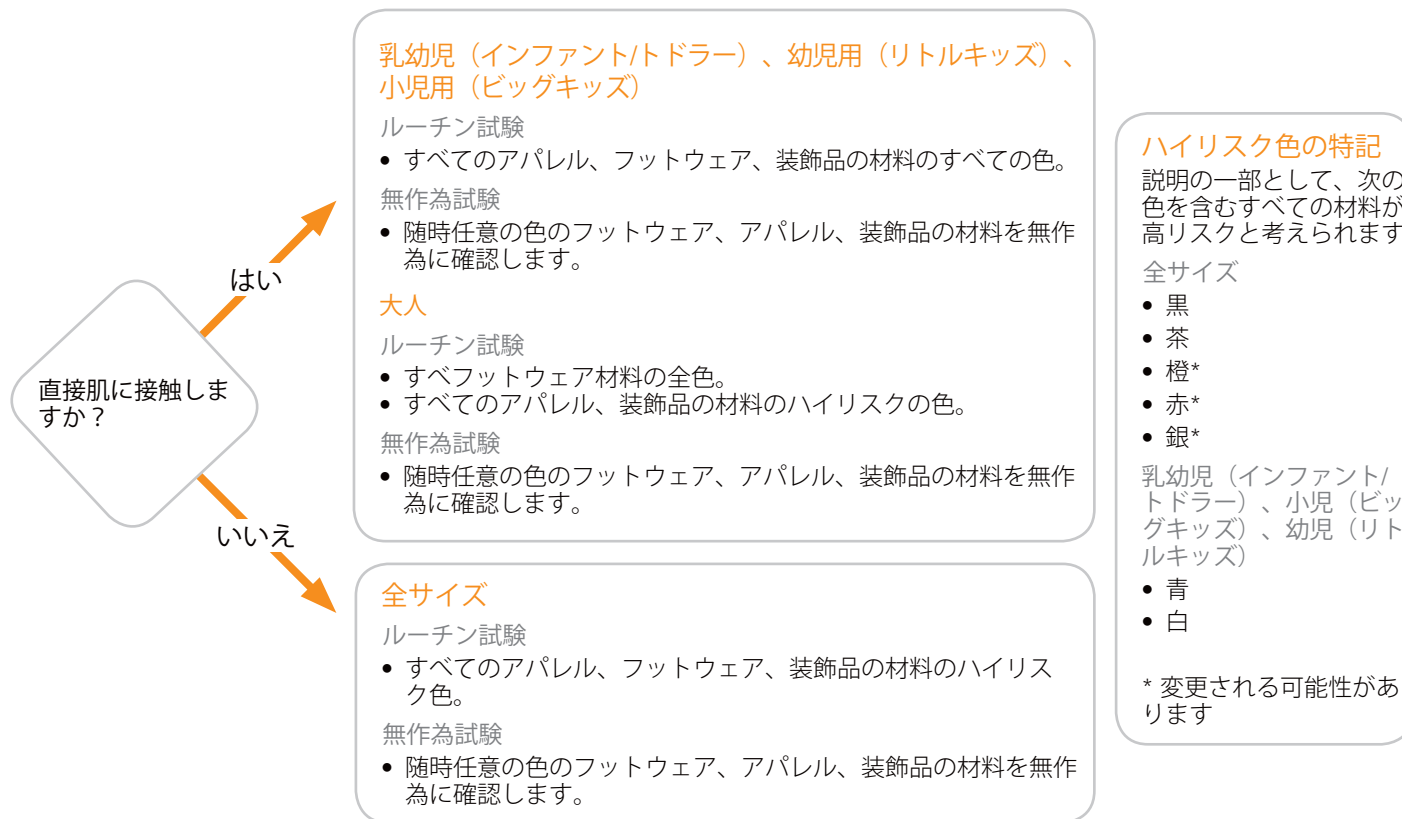
Nike RSLは皮革または合成皮革を以下の組み合わせによって固有の材料と定義します：

- 色
- 厚さ
- ベンダー（材料サプライヤー）

これらの性質が異なる場合、皮革または合成皮革は変更されたことを意味し、試験の対象となる場合があります。触感または型押しのみが唯一の差異である場合（化学品、厚さ、色は同じ）には、1つのRSL試験で十分です。

図2. 皮革および合成皮革の試験ガイダンス

皮革または合成皮革





NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイド

皮革の厚さ、色、型押しの例：4つの材料は同じ化学的性質を持ちます（同じサプライヤーから仕入れ）。橙で例の変化が見られます。

表 3. 皮革の試験が必要かどうかの決定

材料の識別	色	処理	厚さ	この材料を試験しますか？
材料1	ハイリスク色 1	型押し1	厚さ1.2mm	要試験
材料1	ハイリスク色 1	型押し2	厚さ1.2mm	新規試験は不要
材料2	ハイリスク色 2	型押し1	厚さ1.2mm	要新規試験
材料3	ハイリスク色 1	型押し1	厚さ1.8mm	要新規試験

プラスチック、熱可塑性プラスチックおよびポリマー： EVA、PU、硬質プラスチック、ラミネート、ゴム

アパレル、フットウェア、装飾品のためのプラスチック、熱可塑性プラスチックおよびポリマー

Nikeは固有のプラスチック、TPU、ラミネートを以下の組み合わせとして特定します：

- 材料化学
- 色
- 厚さ
- ベンダー（材料サプライヤー）ロケーション

これらの性質が変化した場合は新しい材料とされ、ルーチンまたは無作為の試験が必要となります。

食品に接触するボトル、マウスガード、皮膚用接着ステッカーおよび関連製品用のプラスチック

飲用水ボトル、マウスガード、皮膚用接着ステッカーなどに使用することが意図されるプラスチック材料は、製品、製品の用途、流通ごとに特化した化学品安全要件に適合しなければなりません。57 ページの情報を使用して、Nike化学チームに連絡して、詳細なRSL要件を入手してください。

飲用水ボトル、マウスガード、皮膚用接着ステッカー等に使用されるプラスチック材料に関連する詳細なRSL要件については、Nike化学チームにお問い合わせください。



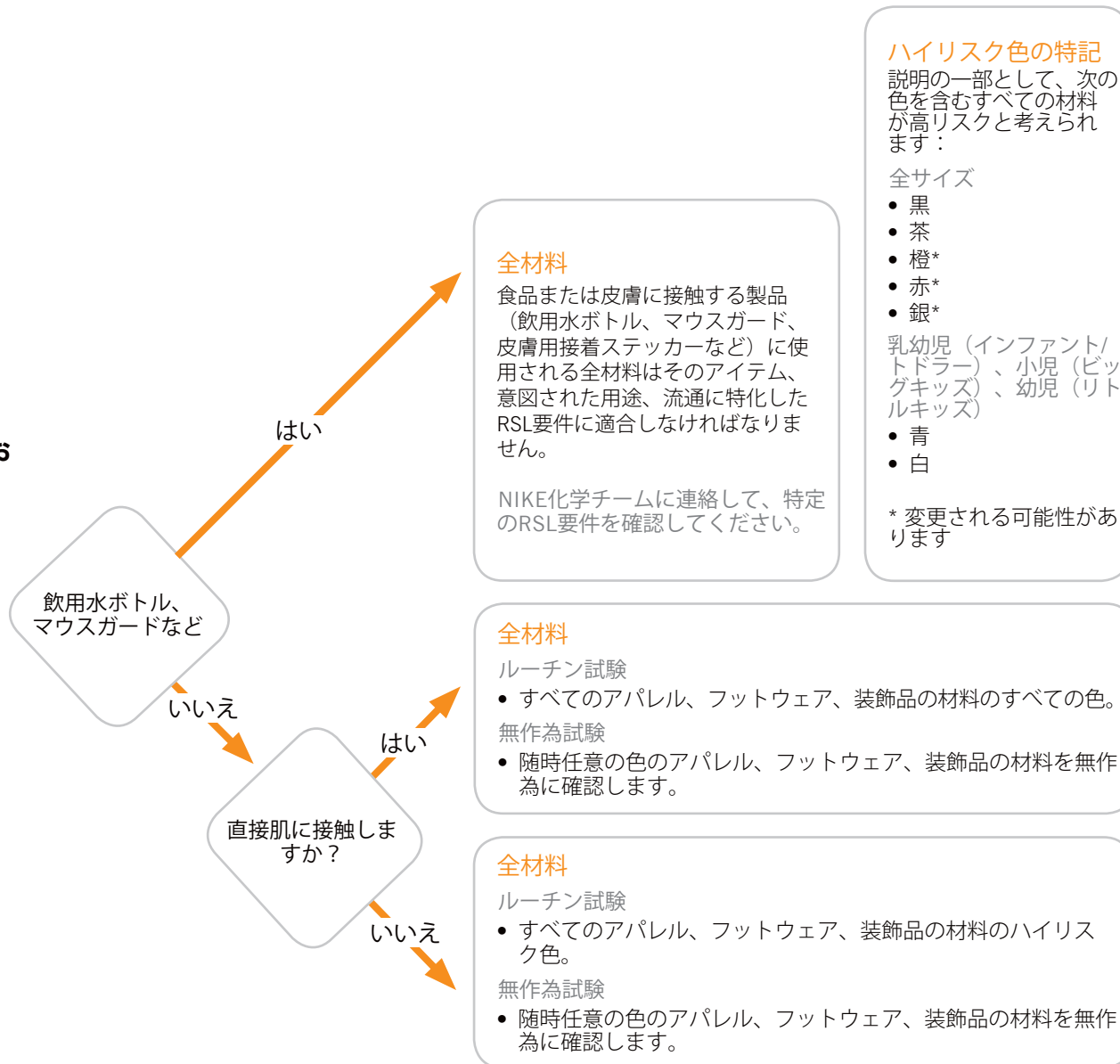
NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイダンス

図3. プラスチック、熱可塑性プラスチックおよびポリマーの試験ガイダンス

プラスチック、熱可塑性プラスチックおよびポリマー

EVA、PU、硬質プラスチック、ラミネート、フォーム、ゴム



ハイリスク色の特記

説明の一部として、次の色を含むすべての材料が高リスクと考えられます：

全サイズ

- 黒
- 茶
- 橙*
- 赤*
- 銀*

乳幼児（インファント/トドラー）、小児（ビッグキッズ）、幼児（リトルキッズ）

- 青
- 白

* 変更される可能性があります



NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイド

ラボへの送付のためのベースカラー サンプルの準備

製造に使用される量にかかわらず、ベース中の顔料の充填量は15%でなければなりません。1つの顔料のみを添加することができます。アプリケーションで使用される任意の添加剤は、硬化プロセスの前に追加されていなければなりません。

そのまま使用できる (RTU) インク製品は、配合を変化させず「現状のまま」提出されなければなりません。全製品はインク製造業者の推奨に沿って、または、製造で使用される実際の条件で硬化または乾燥しなければなりません。

現在、(ベースカラーサンプルに複数の顔料を含む) 複合インクのサンプル提出は許可されていません。

インク、塗料、および接着剤

Nikelはインク、塗料、顔料および接着剤がRSL遵守でないことはハイリスクとみなします。これらの材料は製造前に「用いられた通り」の状態です。必ず試験を実施しなければなりません。例えば、インクならば硬化した状態、塗料ならば乾いた状態などです。

インク、塗料および接着剤はすべて必ず年次試験を実施し、製品に使用する前に、RSL合格結果を受領しなければなりません。表色系配合物に変更がなされた時にはいつでも、または、年次ベースで (どちらか先に発生した際に) 必ず再試験しなければなりません。

Nike RSLを目的とする場合、カラーシステムは、ベースカラー、顔料、色を混合するために使用されるすべての添加剤のセットとして定義されます。(次のページの図4を参照) カラーシステムがRSLに適合したら、- すべての顔料ベースカラーおよび添加剤はRSL合格証を受領します - 新しい材料を試験することなく、部分のいずれかを置き換えることはできません。試験の際、すべてのカラーシステムの材料は「用いられたまま」の状態でなければなりません。これはインクやペイントシステムは、ラボに試験のために送付前に、製造で行われるように、ルーチンの硬化手順後、乾いたまたは硬化した状態でなければなりません。ラボは乾燥や硬化手順を実施することは許可されていません。材料は最終製品で用いられるのと同様の比率や温度で乾燥されなければなりません。材料は、材料を廃棄または剥がすことができる表面に塗布する必要があります。ガラスプレートやフィルムが望ましい。ラボに送付するためのカラーシステムサンプルの準備について特化したガイドは、本ページのサイドバーを参照してください。次のセクションで取り上げられるように、配色見本試験も必要です。

スクリーンプリントインク、熱転写と同様の装飾

Nikelはスクリーンプリントインク、熱転写および同様の装飾がRSL遵守でないことはハイリスクとみなします。これらはすべて必ず年次試験を実施し、製品に使用する前に、RSL合格証を受領しなければなりません。表色系配合物に変更がなされた時にはいつでも、または、年次ベースで (どちらか先に発生した際に) 必ず再試験しなければなりません。

配色見本試験

スクリーンプリント、熱転写および同様の装飾を行う場合、工場は配色見本試験を2%の比率でスタイルごとに (色ではなく) 実施する必要があります。選択された色は濃色のプリントまたは蛍光プリントにします。

例: ある工場は100種類のスタイルを製造します。この工場は製造するスタイルの2%を試験しなければなりません (100スタイル x 2% = 2つの配色見本試験) 最も製造量の多い2つのスタイルが試験のために選択されます。50以上のスタイルが製造される場合には、最低1つの配色見本試験が必要とされます。(次のページの図5をガイドとして参照のこと。)



図4. 全インク、塗料、顔料**必須**カラーシステム試験

ベース

+

顔料

+

添加剤

+

ドライ & キュア

= **1つのベースカラーサンプル**

- 複合インク試験は許可されていません。
- すべてのベース色サンプルは年次試験の必要があります。
- ベース、顔料、添加剤を含む完全なベースカラーサンプルはすべて、Nike製品で使用する前に初期試験を受け、RSL 合格証を受領する必要があります。
- 使用中のすべてのベースカラーサンプルがRSL 合格証（1年以内）を受け取ると、シェードまたはカラーの組み合わせを再試験する必要はありません。
- ベースカラーサンプルは、配合物の成分ベースの顔料および添加剤が変わるたびに再試験されなければなりません。

図5. 製造量上位2%のスタイルの配色見本試験が**必須**です。

スタイルの定義



- アパレルスタイル1種、3色



- アパレルスタイル3種



- 装飾品スタイル1種、4色



- 装飾品スタイル4種

- 配色見本試験のために製造量上位2%のスタイルを選択します。スタイル数はカラーコードを含みません。

製造量上位2%のスタイルの定義

スタイル	製造量	このスタイルに配色見本試験は必要ですか？
スタイル1	50,000	はい
スタイル2	500	いいえ
スタイル3	20,000	いいえ
スタイル4	30,000	はい
スタイル5	40,000	はい
スタイル 6 - 148	400	いいえ

この例では、工場は148スタイルを製造します：

- 148スタイル x 2% = 2.96
- 製造量上位3つのスタイルにRSL試験を実施しなければなりません。



NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイド

デジタルおよび昇華プリント

デジタルおよび昇華プリントは年に1度試験を実施しなければなりません。サンプルは、各色を個別に、製造する材料を代表するようなRSL適合生地に印刷して準備しなければなりません。サンプルは、製造移行紙とともに、製造装飾品に適用してなければなりません。

ラボに昇華プリントを提出する場合は、A4サイズの生地3枚でそれぞれの基本色を個別に印刷してください。

例：昇華プリントに4色の基本色を使用する場合は、基本色ごとに3色のA4サイズの用紙を12枚印刷します。

デジタルプリントでは、ベースカラーごとに少なくとも10グラムのインクを印刷します。プリントは、ガラススライド（推奨）またはRSL準拠の材料で完全に硬化され、乾燥された状態で試験に提出する必要があります。

ディメンション溶接

すべてのディメンション溶接は、ハイリスクとみなされ、試験が必須となります。材料の置き換えは、代替品が適合品であると試験によって証明されていない限り、許可されていません。

金属パーツ

すべての金属アイテムはハイリスクであるとみなされ、各部品を年次、もしくは基礎金属が変更された場合に試験を実施する必要があります。

その他：ラインストーン、スパンコール等

これらの材料は、金属およびプラスチックに依存するため、RSL遵守でない場合には非常にハイリスクであるとみなされます。各部品を年次または基礎金属が変更された場合に、試験を実施する必要があります。試験は材料タイプおよび使用状況によって変わります。試験を実施するラボまたはNike RSLチームにガイドを求めてください。

販売促進無料提供品

Nikeまたはアフィリエイトのブランドロゴを持つすべての販売促進無料提供品は、Nike RSLに記載されている要件を満たしている必要があります。

販売促進無料提供品は基本の素材および使用目的に応じて試験する必要があります。販売促進無料提供品の多くは、このドキュメントに記載されているカテゴリに分類されるため、それに従って試験する必要があります。これには、カスタマイズされたTシャツ（スクリーンプリント）、玩具、発光アームバンドなどの電子機器および電気機器（EEE）、水ボトル、プレスレット、ネックレス、ドッグタグ、皮膚または口に直接接触するもの（皮革、プラスチック、ゴムおよび金属）などのさまざまな物品が含まれます。

Nike RSLのカテゴリに明確に適合しない販売促進無料提供品がある場合、または正しい（ローカル）要件を取得するための支援が必要な場合は、RSLSupport@nike.com または lst-product.safety.global@nike.com にお問い合わせください。

販売促進無料提供品は、RSLテストに加えて、一般的な法令遵守の評価が必要です。この評価を得るには、lst-product.safety.global@nike.com までご連絡ください。



NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

NIKE RSL 導入 ガイド

玩具、電子および電気機器、食品接触材料

玩具、電子および電気機器、食品接触材料に対する試験要件は、一般的Nike Apparel、Footwear、Equipment（ナイキ アパレル、フットウェア、装飾品）製品の要件とは異なります。次のページで、特化したRSL一覧を参照してください。これらの製品は技術的ファイルまたは追加のラベリングが必要となる場合もあるため、玩具、電子および電気機器、食品接触材料の特徴がある製品を開発する際には、担当のNike RSL連絡先にご相談ください。

試験管理

上記で指定された試験は新規および既存の材料の両方に該当します。すべての試験は製造準備が整った材料 - 実際の製品で使用されるものと同じ材料に対して実施されます。材料または製品に対しRSL試験が実施されている期間、NikeがRSL合格証を受領するまでそれらは出荷することも、製造で使用することもできません。

材料がRSL試験に合格しなかった場合、それによって影響されるすべての材料は直ちに隔離しなければなりません。製品の処分が行われ、欠陥解消プロセスがNike, Inc.とともに完了されるまで隔離は継続されます。大人用および子供用（インファント/トドラー、リトルキッズ、ビッグキッズ）両方のRSL試験要件に合格した材料のみ子供用製品に使用できます。

製造開始前にサプライヤーは工場に対し、Nike RSL遵守の試験結果を提供しなければなりません。すべての試験はNike認証ラボで実施される必要があります。ラボに送付される全サンプルは、www.nikeincchemistry.comから入手可能な試験要求フォーム (TRF)と共に送付されなければなりません。試験結果は特記がない限りRSL試験報告書の日付から1年間有効です。Nikeは任意の時期、任意の材料に対し試験に関するドキュメンテーションを要求する権利を留保します。

RSLデータの取り扱い

- 図6にある通り、Nike承認ラボは試験を実施し、RSLオンラインデータベースに追加するためにすべての結果をNikeに送付します。
- Nike RSLデータベースはデータを保存し、ラボからサプライヤーに配布される試験報告を作成します。
- Nikeはデータベースを利用して、サプライヤースコアカードおよびその他の評価レポートを生成します。

図6. NIKE RSL試験フローチャート





NIKE RSL IMPLEMENTATION GUIDANCE

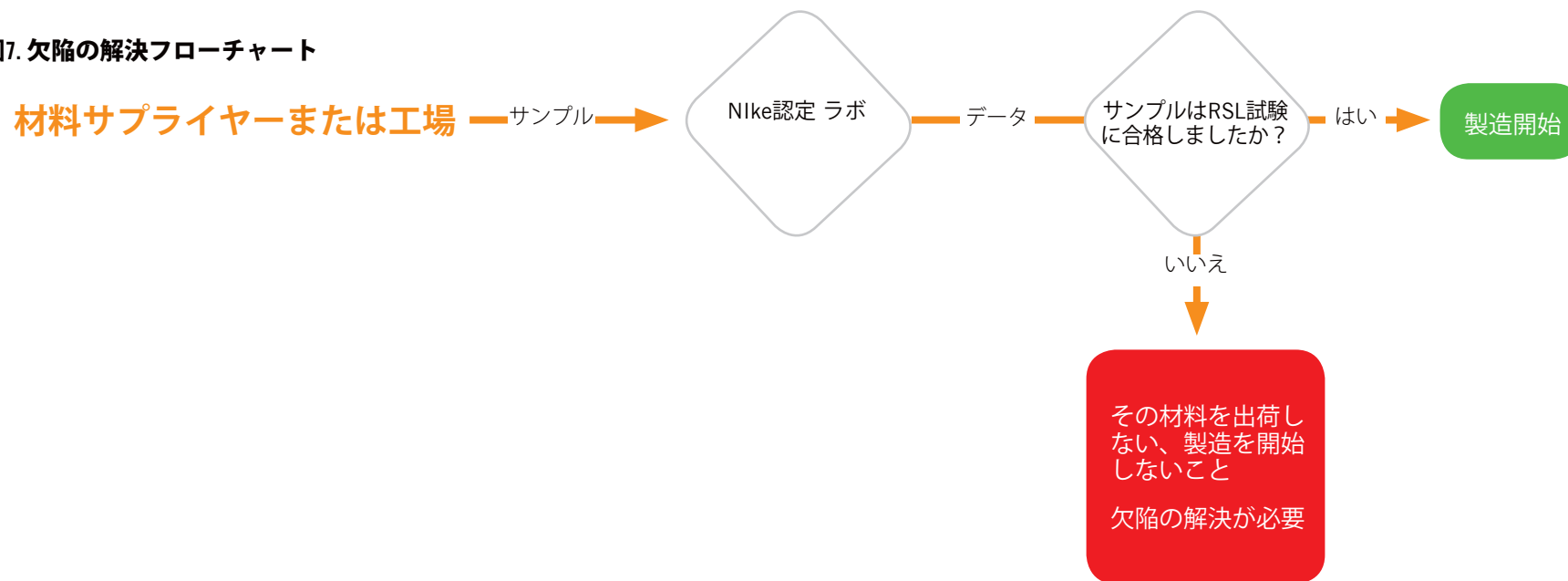
NIKE RSL 導入 ガイダンス

欠陥の解決

ベンダーは出荷されたすべての材料がNike要件を満たすことを確認するためにデューデリジェンスを実施しなければなりません。工場/サプライヤーが主導した試験結果が不合格または子供用不合格 (KID FAIL) 評価の場合、様々な結果が発生します：

- 工場/サプライヤーには責任があり、返品費用および代替費用のすべてを負担しなければなりません。不合格の材料は直ちに隔離されなければなりません。
- 工場/サプライヤーは、不合格または子供用不合格 (KID FAIL) 評価の試験報告書に付帯のNike RSL欠陥解消フォーム (FRF)にもれなく記入しなければなりません。FRFは問題修正の支援のために、根本原因を特定し、長期、短期の是正処分計画を作成するための情報を収集します。もれなく記入されたFRFは、FRFの「試験および連絡先情報」セクションに記載されたNikeの適切な連絡先に送付しなければなりません。
- 欠陥の根本原因が修正されたら、その材料を再試験しなければなりません。
注記：再試験はNikeまたは関連会社から、再試験実施の指示があってからのみ実施されるべきです。この指示は欠陥解決プロセスが完了してからのみ出されます。再試験には是正処分計画により、すべてまたは一部の試験パッケージが必要です。
- 複数回の材料RSL不合格のため、ベンダーが信頼できないと判断された場合、Nike独自の判断により、そのベンダーを試用ステータスにします。これにより、試験要件が増加する結果が生じます。
- 試用期間中のベンダーが不適合材料を供給し続ける場合、Nikeおよび/または関連会社はその独自の判断により、さらなる対策をとる可能性があります。その対策には、そのベンダーとの全取引の中止も含まれます。

図7. 欠陥の解決フローチャート



ELECTRICAL AND ELECTRONIC COMPONENTS

電気および電子部品

電気および電子機器 (EEE) 部品は、正常に機能するために電流または電磁場に依存するすべての部品と定義されています。全部品が電子機器用 Nike RSL に適合しなければなりません。製品に電子部品が組み込まれる場合には、EEE 試験および標準 RSL 試験が必須となります。

42 NIKE 電子機器用制限物質一覧 (RSL)



ELECTRICAL AND ELECTRONIC COMPONENTS

電気および電子部品

組込み電子部品および/または電気部品を含む製品は、下記の電子機器のRSL要件に加えて、すべての標準RSL要件を満たさなければなりません。エンドユーザーと接触する電気製品のどの部分も、標準RSLまたは電子機器RSLに記載されている特定の化学物質の最低限度を満たさなければなりません。エンドユーザーと接触しない電気部品は、電子機器用のRSL（下記）を適用する必要があります。Nike製品安全チームは、化学物質の規制に加えて、特定のアイテムのレビューを実施する場合があります。当該チームには lst-product.safety.global@nike.com から連絡してください。

NIKE電子機器用制限物質一覧 (RSL)

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため)	潜在的用途 アパレル & フットウェア のためのテキスタイル処理	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
電池またはボタン電池の金属					
コンシューマ製品内に含まれる電池をエンドユーザーが容易に取り除けなければなりません。					
7440-43-9	Cadmium	5 mg/kg	0.5 mg/kg		Nike社内方式 王水/過酸化水素分解 後、ICP/VGA-AAS分析
7439-92-1	Lead	1,000 mg/kg	100 mg/kg		
7439-97-6	Mercury	禁止	0.5 mg/kg		
電気および電子機器					
電流または電磁場に依存して正常に機能する機器で、交流1000ボルトまたは直流1500ボルトを越えない定格電流で使用されるよう設計されたもの、そして、2002/96/ ECの附属書1Aに記載されたカテゴリに該当するものに適用されます。サンプリングおよび分析はテスト要求の要件に基づきます。					
85-68-7	Butyl benzyl phthalate (BBP)	1,000 mg/kg	50 mg/kg		IEC 62321, Ed.1, 2008
84-74-2	Dibutyl phthalate (DBP)	Phthalates DEHP、BBP、DBP、DiBP の制限は機能の修理、再使用、更新または市場に2019年7月22日以前に投入されるEEEのキャパシターの向上のためのケーブルまたはスペアパーツには適用されません。			
117-81-7	Di (ethylhexyl) phthalate (DEHP)				
84-69-5	Di-isobutyl phthalate (DiBP) (84-69-5)				
7440-43-9	Cadmium		100 mg/kg		
7440-47-3	Chromium (VI)	1,000 mg/kg	100 mg/kg		
7439-92-1	Lead	1,000 mg/kg	100 mg/kg		
7439-97-6	Mercury	1,000 mg/kg	100 mg/kg		
各種	PBDE、PBB	1,000 mg/kg	100 mg/kg		

玩具

玩具とは14才未満の子供を対象としたプレイバリューのある製品または材料と定義されています。試験要件は販売される製品および無償提供される製品の両方に適用されます。

- 44 **玩具、玩具部品および玩具材料の試験ガイド
ンス**
 - 46 **NIKE玩具、玩具部品および玩具材料用制限物
質一覧 (RSL)**
-



玩具

玩具、玩具部品および玩具材料は玩具用Nike RSLおよびNike RSLの限度に適合しなければなりません。玩具はこれらの化学的要件を越えて、厳格な機械的、安全試験にも合格しなければなりません。何らかの試験を開始する前に、常に、Nike製品安全連絡先に相談するようにしてください。

試験ガイド表は玩具、玩具部品および玩具材料および限度以上に排出してはならない該当する化学品について指定します。この表はEN71-10:2005 および EN71-11:2005に関連するEN71-3:2013 および EN71-9:2005の要件に基づきます。さらに、玩具に使用されている塗料の鉛含有量が40 mg/kgを超過し米国連邦の限度である90 mg/kg以内の場合（CSPIAの表面コート）、米国のLead Poisoning Prevention Act (LPPA)（イリノイ州の鉛中毒防止法 (LPPA)）は警告ラベルの表示を義務付けています。

玩具、玩具部品および玩具材料の試験ガイド

特定の玩具または玩具の部品	材料	難燃剤	着色剤	第一芳香族アミン	単量体 (モノマー)	溶剤 - 移行	溶剤 - 吸入	木材防腐剤	防腐剤	可塑剤	重金属
三歳未満の子供が口にすることが考えられる玩具	重合体				X	X				X	X
150g以下の玩具またはアクセスできる部品で3歳未満の子供の手で遊ばれることが考えられるもの	重合体				X	X				X	X
	木材		X	X				X			X
	紙		X	X							X
玩具またはアクセスできる部品で3歳未満の子供向けのもの	テキスタイル	X	X	X							X
	皮革		X	X					X		X
口で作動させるおもちゃのマウスピース部分	重合体				X	X				X	X
	木材		X	X				X			X
	紙		X	X							X
フルに空気を入れた状態で表面積が .5 m ² 以上の空気注入式の玩具	重合体						X				X



玩具、玩具部品および玩具材料の試験ガイドンス、続き

特定の玩具または玩具の部品	材料	難燃剤	着色剤	第一芳香族アミン	単量体 (モノマー)	溶剤-移行	溶剤-吸入	木材防腐剤	防腐剤	可塑剤	重金属
口と鼻に装着する玩具	重合体				X		X				X
	テキスタイル		X	X			X				X
	紙		X	X							X
子供が入ることができる玩具	重合体										X
	テキスタイル										X
玩具として販売されているか、玩具として使用されているグラフィック機器の部品	重合体				X					X	X
室内使用の玩具または玩具のアクセス可能な部品	木材							X			X
屋外使用の玩具または玩具のアクセス可能な部品	木材							X			X
食品に似せた玩具または玩具のアクセス可能な部品	重合体				X	X				X	X
跡を残すことが意図された固形の玩具材料	すべて		X	X							X
玩具の中の着色されたアクセス可能な液体	液体		X	X					X		X
玩具の中の非着色のアクセス可能な液体	液体								X		X
成型粘土、遊戯用粘土、など	すべて		X	X					X		X
風船を作る部品	すべて		X	X			X				X
接着剤付き模擬タトゥー	すべて		X	X		X			X		X
模造宝石	重合体		X	X	X	X				X	X
	金属										X



NIKE玩具、玩具部品および玩具材料用制限物質一覧 (RSL)

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため) mg/kg = 玩具材料ベース mg/L = 水性抽出物ベース	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Aromatic Amines				
92-87-5	Benzidine	検出されず 制限されたアミンごと * 試験方法検出限度についてはラボ報告限度を参照してください。	5 mg/kg	EN71-11
91-59-8	2-Naphthylamine			
106-47-8	4-Chloroaniline			
91-94-1	3,3'-Dichlorobenzidine			
119-90-4	3,3'-Dimethoxybenzidine			
119-93-7	3,3'-Dimethylbenzidine			
95-53-4	o-Toluidine			
90-04-0	o-Anisidine (2-methoxyaniline)			
62-53-3	Aniline			
染料				
2475-45-8	分散青1	検出されず 制限された染料ごと * 試験方法検出限度についてはラボ報告限度を参照してください。	10 mg/kg	EN71-11
2475-46-9	分散青3			
12223-01-7	分散青106			
61951-51-7	分散青124			
2832-40-8	分散黄3			
730-40-5	分散橙3			
12223-33-5、 13301-61-6	分散橙37/76			
2872-52-8	分散赤1			
60-09-3	溶剤 黄1			
60-11-7	溶剤 黄2			
97-56-3	溶剤 黄3			
569-61-9	塩基性レッド9			
8004-87-3	塩基性バイオレット1			
548-62-9	塩基性バイオレット3			
3761-53-3	アシッドレッド26			
1694-09-03	アシッドバイオレット49			



NIKE 玩具、玩具部品および玩具材料用RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため) mg/kg = 玩具材料ベース mg/L = 水性抽出物ベース	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
Elastomers				
月齢36か月以下の子供による使用が意図されたものまたは口にいれることが考えられるもの				
1116-54-7	N-nitrosodiethanolamine	N-nitrosamines ≤0.01 mg/kg N-nitrosatable化合物 ≤0.1 mg/kg	N-nitrosamines ≤0.01 mg/kg N-nitrosatable化合物 ≤0.1 mg/kg	EN71-12
62-75-9	N-nitrosodimethylamine			
55-18-5	N-nitrosodiethylamine			
621-64-7	N-nitrosodipropylamine			
601-77-4	N-nitrosodiisopropylamine			
924-16-3	N-nitrosodibutylamine			
997-95-5	N-nitrosodiisobutylamine			
1207995-62-7	N-nitrosodiisononylamine			
59-89-2	N-nitrosomorpholine			
100-75-4	N-nitrosopiperidine			
5336-53-8	N-nitrosodibenzylamine			
614-00-6	N-nitroso-N-methyl-N-phenylamine			
612-64-6	N-nitroso-N-ethyl-N-phenylamine			
難燃剤				
32534-81-9	Pentabromodiphenyl ether (PentaBDE) 3-isomers	1,000 mg/kg 異性体の各難燃剤の合計	5 mg/kg	溶媒抽出およびGC-MS または LC-MS分析
32536-52-0	Octabromodiphenyl ether (OctaBDE) 4-isomers			
1163-19-5	Decabromodiphenyl ether (DecaBDE)			
78-30-8	Tri-o-cresyl phosphate	検出されず * 試験方法検出限度についてはラボ報告限度を 参照してください。	50 mg/kg	EN71-11
115-96-8	Tris (2-chloroethyl) phosphate			



NIKE 玩具、玩具部品および玩具材料用RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため) mg/kg = 玩具材料ベース mg/L = 水性抽出物ベース	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
塗料の鉛合計				
	玩具の塗料の鉛合計	鉛含有量が40 mg/kg以上 90 mg/kg未満の場合 警告ラベルが必須	40 mg/kg	Nike社内方式
金属				
		カッコ内の値は成型粘土、遊戯用粘土等と同種のもの		ASTM F 963
7440-36-0	Antimony	60 mg/kg	5 mg/kg	
7440-38-2	Arsenic	25 mg/kg	0.5 mg/kg	
7440-39-3	Barium	1,000 mg/kg (250 mg/kg)	100 mg/kg	
7440-47-3	Chromium	60 mg/kg (25 mg/kg)	3 mg/kg	
7440-43-9	Cadmium	75 mg/kg (50 mg/kg)	25 mg/kg	
7439-92-1	Lead	90 mg/kg	50 mg/kg	
7439-97-6	Mercury	60 mg/kg (25 mg/kg)	5 mg/kg	
7782-49-2	Selenium	500 mg/kg	50 mg/kg	



NIKE 玩具、玩具部品および玩具材料用RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度			ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため) mg/kg = 玩具材料ベース mg/L = 水性抽出物ベース			適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
		カテゴリー1 乾燥、脆弱、 粉末状または 柔軟な玩具の 材料	カテゴリー2 液体または粘 着性の玩具の 材料	カテゴリー3 摩擦、こす りつける玩 具の材料	カテゴリー1 乾燥、脆弱、 粉末状また は柔軟な玩 具の材料	カテゴリー2 液体または 粘着性の玩 具の材料	カテゴリー3 摩擦、こす りつける玩 具の材料	
金属								
	Aluminium	5,626 mg/kg	1,406 mg/kg	70,000 mg/kg	50 mg/kg	50	50 mg/kg	EN 71-3:2013
	Antimony	45 mg/kg	11.3 mg/kg	560 mg/kg	1 mg/kg	1	10 mg/kg	
	Arsenic	3.8 mg/kg	0.9 mg/kg	47 mg/kg	0.5	0.5	10 mg/kg	
	Barium	1,500 mg/kg	375 mg/kg	18,750 mg/kg	50	50	50 mg/kg	
	Boron	1,200 mg/kg	300 mg/kg	15,000 mg/kg	50	50	50 mg/kg	
	Cadmium	1.3 mg/kg	0.3 mg/kg	17 mg/kg	0.1	0.1	5 mg/kg	
	Chromium (III)	37.5 mg/kg	9.4 mg/kg	460 mg/kg	1	1	1 mg/kg	
	Chromium (VI)	0.02 mg/kg	0.005 mg/kg	0.2 mg/kg	0.018	0.005	0.18 mg/kg	
	Cobalt	10.5 mg/kg	2.6 mg/kg	130 mg/kg	0.5	0.5	10 mg/kg	
	Copper	622.5 mg/kg	156 mg/kg	7,700 mg/kg	50	50	50 mg/kg	
	Lead	13.5 mg/kg	3.4 mg/kg	160 mg/kg	0.5	0.5	10 mg/kg	
	Manganese	1,200 mg/kg	300 mg/kg	15,000 mg/kg	50	50	50 mg/kg	
	Mercury	7.5 mg/kg	1.9 mg/kg	94 mg/kg	0.5	0.5	10 mg/kg	
	Nickel	75 mg/kg	18.8 mg/kg	930 mg/kg	10	10	10 mg/kg	
	Selenium	37.5 mg/kg	9.4 mg/kg	460 mg/kg	5	5	10 mg/kg	
	Strontium	4,500 mg/kg	1,125 mg/kg	56,000 mg/kg	50	50	50 mg/kg	
	Tin	15,000 mg/kg	3,750 mg/kg	180,000 mg/kg	0.36	0.08	4.9 mg/kg	
	Organic Tin	0.9 mg/kg	0.2 mg/kg	12 mg/kg	0.2	0.14	0.5 mg/kg	
	Zinc	3,750 mg/kg	938 mg/kg	46,000 mg/kg	50	50	50 mg/kg	



NIKE 玩具、玩具部品および玩具材料用RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため) mg/kg = 玩具材料ベース mg/L = 水性抽出物ベース	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
単量体 (モノマー)				
79-06-1	Acrylamide	検出されず	0.02 mg/L	EN71-11 限度はmg、 monomer/擬似液1L
80-05-7	Bisphenol A	0.1 mg/L	0.01 mg/L	
50-00-0	Formaldehyde	2.5 mg/L	0.2 mg/L	
108-95-2	Phenol	15 mg/L	1.0 mg/L	
100-42-5	Styrene	0.75 mg/L	0.2 mg/L	
可塑剤				
115-86-6	Triphenyl phosphate	検出されず 一覧に含まれる可塑剤ごと	0.03 mg/L 一覧に含まれるphosphate plasticizerごと	EN71-11
78-30-8	Tri-o-cresyl phosphate			
563-04-2	Tri-m-cresyl phosphate			
78-32-0	Tri-p-cresyl phosphate			
以下を含むものの、これに限定されないphthalic acidのすべてのesters：				
28553-12-0	Di-isononyl phthalate (DINP)	検出されず phthalic acid estersの総合計	50 mg/kg phthalic acid estersの総合計	Nike社内方式 LC-DAD-MSまたはGC-MS による合成繊維および熱 可塑性プラスチック中の Ortho-Phthalic Estersの定義 フラグメンテーションによ る欠陥の確認HPLC-MS
117-81-7	Di (ethylhexyl) phthalate (DEHP)			
117-84-0	Di-n-octyl phthalate (DNOP)			
26761-40-0	Di-iso-decyl phthalate (DIDP)			
85-68-7	Butyl benzyl phthalate (BBP)			
84-74-2	Dibutyl phthalate (DBP)			
Polycyclic Aromatic Hydrocarbons (PAHs)				
	Benzo (a)pyrene	口または皮膚に接触するアイテム PAHごとに <0.5 mg/kg	0.2 mg/kg	CNS 3478 条項 6.18 (プラスチック製靴) ZEK 01.4-8 (その他)
	Benzo (e)pyrene			
	Benzo (a)anthracene			
	Chrysene			
	Benzo (b)fluoranthene			
	Benzo (j)fluoranthene			
	Benzo (k)fluoranthene			
	Dibenzo (a,h)anthracene			



NIKE 玩具、玩具部品および玩具材料用RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため) mg/kg = 玩具材料ベース mg/L = 水性抽出物ベース	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
防腐剤				
	Pentachlorophenol (PCP)およびその塩	検出されず	2 mg/kg	EN71-11
58-89-9	Lindane	検出されず	2 mg/kg	
68359-37-5	Cyfluthrin	検出されず	10 mg/kg	
52315-07-8	Cypermethrin	検出されず	10 mg/kg	
52918-63-5	Deltamethrin	検出されず	10 mg/kg	
52645-53-1	Permethrin	検出されず	10 mg/kg	
108-95-2	Phenol	検出されず	10 mg/kg	
2634-33-5	1,2-Benzylisothiazolin-3-one	検出されず	5 mg/kg	
2682-20-4	2-methyl-4-isothiazolin-3-one	15 mg/kg (合計)	10 mg/kg (合計)	
26172-55-4	5-chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one			
50-00-0	Formaldehyde	500 mg/kg	400 mg/kg	
溶剤 - 吸入				
108-88-3	Toluene	260 µg/m ³		EN71-11
100-41-4	Ethylbenzene	5,000 µg/m ³		
95-47-6	o-Xylene	合計：870 µg/m ³		
108-38-3	m-Xylene			
106-42-3	p-Xylene			
108-67-8	Mesitylene (1,3,5-trimethylbenzene)	2,500 µg/m ³		
79-01-6	Trichlorethylene	検出されず		
75-09-2	Dichloromethane	3,000 µg/m ³		
110-54-3	n-Hexane	1,800 µg/m ³		
98-95-3	Nitrobenzene	検出されず		
108-94-1	Cyclohexanone	136 µg/m ³		
78-59-1	Isophorone	200 µg/m ³		
71-43-2	Benzene	検出されず		



NIKE 玩具、玩具部品および玩具材料用RSL、続き

CAS番号	物質	Nike制限 部品の最大許容濃度	ラボ制限値 報告制限値 (ラボでの使用のため) mg/kg = 玩具材料ベース mg/L = 水性抽出物ベース	適切な検査方法 サンプルの用意 & 計測
溶剤 - 移行				
79-01-6	Trichloroethylene	検出されず	0.02 mg/L	EN71-11
75-09-2	Dichloromethane	0.06 mg/L	0.03 mg/L	
110-49-6	2-Methoxyethyl acetate	0.5 mg/L (合計)	0.1 mg/L	
110-80-5	2-Ethoxyethanol			
111-15-9	2-Ethoxyethyl acetate			
111-96-6	Bis- (2-methoxyethyl) ether			
70657-70-4	2-methoxypropyl acetate			
67-56-1	Methanol	5 mg/L	1 mg/L	
98-95-3	Nitrobenzene	検出されず	0.02 mg/L	
108-94-1	Cyclohexanone	46 mg/L	3 mg/L	
78-59-1	3,5,5-trimethyl-2-cyclohexen-1-one (isophorone)	3 mg/L	0.6 mg/L	
108-88-3	Toluene	2 mg/L	0.5 mg/L	
100-41-4	Ethylbenzene	1 mg/L	0.1 mg/L	
95-47-6	o-Xylene	2 mg/L (合計)	0.1 mg/L	
108-38-3	m-Xylene			
106-42-3	p-Xylene			
71-43-2	Benzene	5 mg/kg	1 mg/kg	

MANUFACTURING CHEMISTRY GUIDANCE

製造化学ガイダンス

製造化学ガイダンスは製造環境で原材料を処理したり、Nike製品を組み立てるために使用される可能性がある化学品に適用されます。テキスタイル製造に重点を置いた製造制限物質一覧 (MRSL) およびフットウェアおよび装飾品の製造に関する化学品の使用について述べたNike一般ガイダンスが含まれます。

- 54 **テキスタイル、合成皮革、皮革製造
その他すべての原材料および製品の製造**
 - 55 **フットウェアおよび装飾品のNIKE製造制限物質一覧 (MRSL)**
-



MANUFACTURING CHEMISTRY GUIDANCE

製造化学ガイド

当社のサプライチェーン内で化学品を管理することは当社の製品に厳格な化学品の制限を設けることに留まりません。Nikeは、特定の化学物質の使用を管理するためにサプライチェーン全体で10年以上にわたり、製造制限物質リスト (MRSL) を使用してきました。MRSLは、完成品工場および原材料ベンダーにガイドを提供するための不可欠なツールです。当社は業界のインパクトを削減し、労働者や環境を保護することは化学品のスタンダードおよびインプット管理に全体的な努力と調和のとれたアプローチを要すると認識しています。共有されたサプライチェーンでは、このアプローチが必要です。

テキスタイル、合成皮革、皮革製造

有害化学物質の排出ゼロ (ZDHC) 連盟を通して、当社はその他のブランドと協力してZDHC MRSLの作成を支援しました。この業界全体で使用されるツールはテキスタイル、合成皮革、天然皮革の製造のために、製造プロセスで使用される可能性のある優先化学品に制限を設けます。化学製剤の上流での使用を制御するための制限を設定する業界標準をサポートすることは、Nikeおよびその他の企業が我々の目標である有害化学物質の排出ゼロを達成できるようにします。

NikeはZDHC MRSLを取り入れています。当社のサプライチェーンの施設は化学製剤の購買時にこのスタンダードを使用すべきです。MRSLに列挙された化学品は当社のサプライヤーによって意図的に使用されてはならず、原材料 (染料等) を処理するために購入および使用される化学製剤はこのスタンダードで説明されている厳格な化学品制限に適合しなければならぬことに注意することが重要です。Nikeはサプライチェーンの企業が自社の化学品サプライヤーに連絡して、ZDHC MRSLスタンダードについて伝達することを奨励します。化学品サプライヤーは自社製品のうちどれが、このスタンダードに適合するかを確認することや、適合する製剤の調達を支援することができます。

最新版ZDHC MRSLの複製はZDHCウェブサイトからダウンロードできます。(www.roadmaptozero.com)

その他すべての原材料および製品の製造

ZDHC MRSLは業界の変化を駆動するパワフルなツールですが、Nike材料すべてに関連する全化学品を含むまで拡大するには時間を要します。ZDHC内でこの仕事が進行する中、製品の製造インパクトを最小限にするという目標を達成するために、当社は暫定ガイドを提供しなければならないと認識します。以下に説明される化学品の在庫は、完成品工場内 (製品製造/組み立て) およびZDHC MRSLでは取り扱われていない原材料製造 (即ち、metal trims および polymers) により強化された制御と管理を要します。これらの化学品が完全に撤廃されるか、安全な代替品に置き換えられるまで、その使用を厳しく制御し、環境、労働者、消費者への暴露を最小限度にするためにあらゆる努力がなされるべきです。



フットウェアおよび装飾品のNIKE製造制限物質一覧 (MRSL)

CAS番号	物質	類義語	一般的な用途
	Alkyphenols (APs)およびAlkylphenol Ethoxylates (APEOs)		
各種	Nonylphenols		洗剤、界面活性剤、洗浄剤、テキスタイルおよび皮革処理剤、殺生物剤と殺虫剤の成分、セメント、接着剤、金属加工
各種	Octylphenols		
各種	Nonylphenol ethoxylate (C ₂ H ₄ O) _n C ₁₅ H ₂₄ O		
各種	Octylphenol ethoxylate (C ₂ H ₄ O) _n C ₁₄ H ₂₂ O		
71-43-2	Benzene	Benzol、phenyl hydride	溶媒、洗浄剤
	クラスIおよびIIのオゾン層破壊物質		溶媒、洗浄剤
1319-77-3	Cresol	Cresylic Acid	ナイロン、プラスチックプライマー、樹脂
108-39-4	m-Cresol		
95-48-7	o-Cresol		
106-44-5	p-Cresol		
127-19-5	N,N-Dimethylacetamide	DMAC	プライマー、接着剤、樹脂の溶媒
67-68-5	Dimethylsulfoxide	DMSO	溶媒、洗浄剤
68-12-2	Dimethyl Formamide	DMF	溶媒、洗浄剤
111-76-2)	Ethylene Glycol Monobutyl Ether	EGBE/Butyl cellusolve	溶媒、洗浄剤
50-00-0	Formaldehyde	Formic Aldehyde	溶媒、洗浄剤、抗収縮樹脂、型インヒビター
75-09-2	Methylene Chloride	Dichloromethane, Methylene Dichloride	溶媒、洗浄剤
110-54-3	n-Hexane	Hexane	溶媒、洗浄剤
872-50-4	n-Methyl Pyrrolidone	NMP, 1-methyl-2-pyrrolidinone	溶媒、洗浄剤
101-14-4	4,4'-Methylenebis (2-Chloraniline)	MOCA	プレス加工の敷物



NIKE MRSLフットウェアおよび装備用、続き

CAS番号	物質	類義語	一般的な用途
108-95-2	Phenol	Carbolic Acid, Phenyl Alcohol, Phenyl Hydroxide	プライマーの溶媒、ナイロンおよびプラスチックの接着剤、樹脂
127-18-4	Tetrachloroethylene	Perchloroethylene, PERC	溶媒、洗浄剤
71-55-6	1,1,1-Trichloroethane	1,1,1 - TCA, Methyl Chloroform	溶媒、洗浄剤
108-88-3	Toluene	Methylbenzene	プライマーの溶媒、接着剤、塗料およびインク
584-84-9 91-08-7	2,4-Toluene Diisocyanate Toluene-2,6-Diisocyanate	TDI	一部のポリウレタンフォームのアクチベーター
79-01-6	Trichloroethylene	TCE, Trichlorethene	溶媒、洗浄剤
1330-20-7	Xylene — すべての異性体	Ethylbenzene, o-,m-,p-Xylene	プライマーの溶媒、接着剤、塗料およびインク
67-66-3	Trichloromethane	Chloroform	溶媒、洗浄剤
79-00-5	1,1,2-Trichloroethane	Vinyl Trichloride	溶媒、洗浄剤
75-35-4	1,1-Dichloroethylene	1,1-Dichloroethene	溶媒、洗浄剤

SUSTAINABLE CHEMISTRY GUIDANCE

サステナブルケミストリーガイダンス

危険な化学品の削減、撤廃、サステナブルイノベーションの駆動を支援するプログラムやツール

58 **グリーンケミストリー（環境に配慮した化学）の紹介**

NIKEグリーンケミストリープログラム

60 **より良い化学リソース**

64 **NIKE材料サステナビリティインデックス (NIKE MSI)**



SUSTAINABLE CHEMISTRY GUIDANCE

サステナブルケミストリーガイド

グリーンケミストリー（環境に配慮した化学）の紹介

製品やプロセスからの危険な化学品の削減およびまたは撤廃はNikeの長期的サステナビリティ目標の1つの側面です。当社はすべてのサプライヤーに自社の化学的影響をより良く理解し、より環境にやさしい製造方法を探るよう依頼しています。Nike化学チームはすべてのサプライヤーに対し、図8に挙げられたグリーンケミストリーの原則を利用して、イノベーションを喚起するよう奨励しています。これらの原則を使用して、材料を設計し、製造することは、それがサプライチェーンのどのステージであっても、サステナビリティを高め、消費者、従業員、コミュニティ、環境を保護することに役立ちます。

図8.グリーンケミストリーの原則

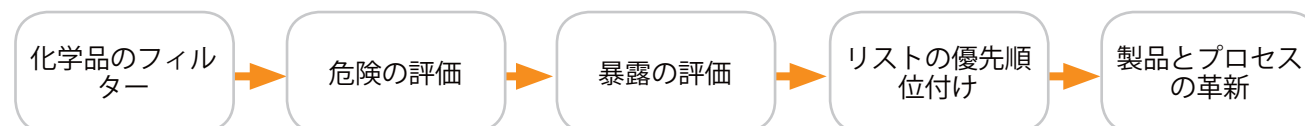
- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 予防 | 7 再生可能な原料の使用 |
| 2 アトムエコノミー | 8 誘導体の削減 |
| 3 危険性の低い化学合成 | 9 触媒反応 |
| 4 より安全な化学品のデザイン | 10 分解のためのデザイン |
| 5 より安全な溶剤および助剤 | 11 汚染予防のためのリアルタイム分析 |
| 6 エネルギー効率のためのデザイン | 12 事故防止のための本質的に安全な化学 |

文献：Anastas, P. T.; Warner, J. C.; Green Chemistry: Theory and Practice, Oxford University Press: New York, 1998, p.30. (引用元：www.epa.gov/greenchemistry/pubs/principles.html)

NIKEグリーンケミストリープログラム

Nikeグリーンケミストリープログラムは、製品化学でイノベーションを駆動するよう設計されています。特にグリーンケミストリープログラムの原則の周縁にあるものではその傾向が強くなります。危険な化学品を削減する努力は、図9にあるように、体系的でリスクに基づくアプローチを使って、製品またはプロセスの化学品を評価します。消費者、従業員、コミュニティ、環境を保護するという目標と共に、プログラムは有害性および暴露の可能性の評価に依存します。危険性および暴露の可能性を評価することはリスクの高い化学品（リスク=危険性 x 暴露）の改質による撤廃またはNike RSLを介した管理の優先順位を高くすることを可能にします。

図9. NIKEグリーンケミストリープログラムのアプローチ





SUSTAINABLE CHEMISTRY GUIDANCE

サステナブルケミストリーガイド

化学的危険の基準

化学的危険を評価するアプローチはベンチマークツール「より安全な化学品のためのグリーンスクリーン（バージョン1.2）」に基づき、表4にある毒性エンドポイントを使用します。

表4. 危険評価のための毒性エンドポイント

発癌性	化学的相互作用/反応（例：爆発性、引火性）
変異原性/遺伝毒性	
生殖毒性 発達毒性	環境動態 生物蓄積性 分解性/持続性
内分泌活動	
神経毒性	
急性哺乳動物毒性	
皮膚の刺激	生態毒性 水生毒性 - 急性 水生毒性 - 慢性
目の刺激	
皮膚感作性 呼吸器感作性	
全身毒性/臓器への影響	

暴露

暴露の評価は化学品の優先順位付けを可能にします。暴露の可能性がより高い、より危険な化学品が代替品評価および削減/撤廃のターゲットとなります。

暴露の評価は消費者、労働者、環境にとっての現実的なシナリオに基づきます。消費者の暴露シナリオは、アパレルモデルに基づくことがより頻繁にあります。というのは、皮膚を覆う範囲が広く、通常、フットウェアや装飾品モデルよりも保守的だからです。

従業員および環境への暴露シナリオは標準化の度合いが低く、必要に応じて開発されます。労働者および環境の暴露シナリオは製造でどのように化学品が使用されているか、および、化学品の物理的性質（沸点、溶解度など）により異なります。



SUSTAINABLE CHEMISTRY GUIDANCE

サステナブルケミストリーガイド

より良い化学リソース

当社の危険な化学品のゼロ排出という当社の目標をサポートし、製造による化学的フットプリントを最小化するために、Nikeはサプライチェーン全体でのより良い化学および効率的な製造プロセスを強く推奨します。これらの目標をサポートする、いくつかのプログラム、パートナーシップ、コラボレーションを以下に挙げます。

bluesign® bluefinder Tool

当社のサステナブルな材料におけるイノベーションを駆動し、害のある化学品を当社のサプライチェーンから排除するという現行の努力の一部として、2013年、Nike, Inc.はbluesign® technologies agとの戦略的パートナーシップを発表しました。それ以降、当社の特徴としてよく知られている高品質およびハイパフォーマンスを実現し続けてきました。（詳細については、以下を参照：www.nikeresponsibility.com/innovations/bluesign-bluefinder）この合意は、Nikeのサプライヤーすべてにbluesign® technologies agによって開発管理されているオンラインデータベースへのアクセスを提供します。このデータベースにはポジティブな化学品、およびアセンブラーのためのbluesign®の中にbluesign®blueguide承認テキスタイルおよびアクセサリが提供されています。

bluesign®システムの中では、すべての化学製品が、その生態学的および毒物学的な特性やリスクに基づいて評価されています。こうした評価のために使用された基準はbluesign®方法論および最善のテクノロジー (BAT) による拡張的リスク評価から作成されました。化学製品は3つのカテゴリーに分類されています：

- **青**：これらの化学製品はすべてのアプリケーションで使用され、bluesign®システムの基準すべてに適合する可能性があります。可能な場合にはいつでも、青化学製品が選択されるべきです。
- **グレー**：これらの化学製品は、特定の必要とされる条件下でのみ使用されるべきです。潜在的環境的インパクトはこれらの化学製品と関連しています。結果としてこれらの化学製品は、良く管理されたエンド・オブ・パイプソリューションを含め、良く管理されたプロセスで適用されなくてはなりません。求められる条件はbluesign® bluefinderの中で説明されています。
- **黒**：bluesign®システムの基準に適合しない化学製品は製造プロセスから除外される必要があります。

bluesign® bluefinderはオンラインのデータベースでbluesign® システムの基準に見合う化学製品を含みます。データベースには青およびグレー分類の化学製品のみ含まれています。このデータベースを使用して、製造業者は最新の環境的、職業的健康と安全 (EHS) 要件に適合する化学品を迅速に選択することができます。また、データベースには承認された化学製品を製造プロセスにどのように組み入れるかについてのガイドラインも含まれています。

bluesign® bluefinderデータベースを使用することで、Nikeのサプライヤーはbluesign®の基準に適合する、事前にスクリーニングが行われた化学品の一覧にアクセスすることができます。ツールにサインアップすることで、NikeのサプライヤーはNike材料サステナビリティインデックス (Nike MSI)のもと、ポイントを集めることができます。



SUSTAINABLE CHEMISTRY GUIDANCE

サステナブルケミストリーガイド

Nike環境保護努力の確認 (Nike Validation of a Greening Effort: VGE)

上記の環境保護努力の確認 (VGE) はサプライヤーが材料の製造で使用するにより良い化学品を選択することでNike MSIプログラムでポイントを受け取れるようにします。VGE化学レビュープロセスによって化学的な改善が評価されます。改善内容に基づき、特定の材料に対して最高7ポイントのNike MSIポイントが付与されます。特定のプロセス、材料または実施された化学的変更により、レビュープロセスには、サードパーティの毒性レビューが含まれることがあります。ポイントを獲得する可能性のある化学的改善の例：

- bluesign® bluefinder化学物質またはbluesign® 認証材料の採用
- 特定のNike目標に適合する製剤の調達および使用
- 危険な化学品を危険度が低い代替品に切り替えること
- 危険度の低いプロファイルの新しい材料の開発
- 溶剤の使用の削減

すべてのNikeベンダーは、このプログラムへの参加を強く奨励されており、プロセスのレビューを開始するために、75ページのVGEフォームにもれなく記入し、送信することが求められます。

より良い化学ツールおよび業界のコラボレーション

Nikeは労働者、消費者、アスリート、環境の保護にコミットしています。当社は世界最大のスポーツウェア企業ですが、当社は広大なグローバルサプライチェーンの中の1つのブランドに過ぎないと認識しています。世界的フットウェアおよびアパレルブランドは、意義深い変更を駆動するために協働しなければなりません。そのため、危険な化学品の排出削減に対する広範なサプライチェーン全体における、共同努力の重要性を強調し続けます。化学品管理に関連する主要ツールおよび業界のコラボレーションは以下の2つの表に説明されています。



より良い化学ツール

	ツール		利点	
<p>bluesign technologies ag</p> <p>Nikeとbluesign technologies ag間の戦略的パートナーシップを通して利用できます。</p>	bluesign® bluefinder	bluesign® bluefinderでサプライヤーはbluesign® 評価基準に適合するサステナブルなテキスタイルの準備のデータベースにアクセスできます。これには、製造プロセスで使用される染色システム、洗浄剤、その他のプロセス化学品が含まれます。	Nike MSIはプログラムへの参加に対しポイントを授与 調達を容易にするためのRSL- およびMRSL-準拠製剤の商品名のデータベース	<p>www.bluesign.com</p> <p>Nikeおよび bluesign パートナーシップニュース http://nikeinc.com/news/nike-partners-with-bluesign-technologies-to-scale-sustainable-textiles</p>
	bluesign® blueguide	ブランドや小売業者のための bluesign® blueguideデータベースは bluesign®承認ファブリックについてのデータを含んでいます。 さらに、bluesign® blueguideは環境、職業上の健康および安全、消費者保護に関する情報を提供します。	bluesign® 認証として認められたファブリックは資源効率および環境への影響に関して最高の基準に適合します。	
	bluesign® システムパートナー	システムパートナーは、テキスタイルセクターのグローバルなステークホルダーです。bluesign® システムパートナーは、bluesign®基準への遵守を確認する厳しい試験を経ています。	Nike MSIはbluesign®システムパートナーのステータスの達成に成功した施設に対し、最大限可能なスコアを提供しています。	
<p>Nike, Inc.</p>	Nike承認インク一覧	Nike承認インク一覧はNike RSL試験を一年以内に合格したインク、塗料、カラーシステムを特定するものです。この一覧から選択されたインクはベンダーやサプライヤーの試験を要しません。 スクリーンプリント配色見本試験は実施する必要があります。	承認インプットインクに対する軽減されたRSL試験	Nike Connetから利用可能 自社のインクをこの一覧に加えることに関心のある化学品サプライヤーは、 RSLSupport@nike.com に連絡してください。
<p>AFIRM Group</p>	AFIRM Group サプライヤーツールキット	この化学ガイド文書は、 Apparelやフットウェア製造プロセス中の制限された物質に関する詳細な技術情報を提供します。	このツールキットは、主に、制限物質を完成品から撤廃することに重点を置いています。また、排水、大気への排出、固形廃棄物への化学品の排出に関する広範な情報も記載されています。	www.afirm-group.com/toolkit



業界のコラボレーション

	ツール		利点	
危険な化学品のゼロ排出 (ZDHC) プログラムロードマップ	製造制限物質一覧 (MRSL)	<p>インプット管理ツールとしてMRSLは製造プロセスで潜在的に使用され、環境に排出される危険物質を取り上げます。</p> <p>ZDHC参加ブランドは材料サプライヤーおよび工場が一覧に含まれる物質が規定の制限以上に化学製剤に含まれていないことを確認するために、自社の化学品サプライヤーと連絡しあうことを期待します。</p>	ZDHC MRSLはブランドやそのサプライチェーン、そして、業界全体がアパレルおよびフットウェアで材料を処理するために使用される危険物質のコントロールに対し調和のとれたアプローチを採用するよう支援します。	www.roadmaptozero.com/df.php?file=pdf/MRSL.pdf
	化学品管理システム (CMS) ガイダンスマニュアル	<p>化学品管理システムガイダンスマニュアル (CMS) は化学品管理プログラムがZDHCの目標をサポートするために作成する必要があるアプローチ、構造、ドキュメンテーションに重点を置きます。</p>	CMSはゼロ排出の目標を達成する一方で、環境および化学的パフォーマンスの全体的な改善に効果的なフレームワークです。	www.roadmaptozero.com/df.php?file=pdf/CMS_EN.pdf
	化学品ガイダンスシート	<p>以下の特定の化学物質に関する情報：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Chlorobenzenes • Chlorinated Phenols • Halogenated Solvents • Long-chain PFAAs • Nonylphenols & Ethoxylates • Organotins • Phthalates • Polycyclic Aromatic Hydrocarbons • Short-chain Chlorinated Paraffins 	危険物質、潜在的問題およびその他の化学に集中したアイテムの段階的撤廃に関する便利な情報	www.roadmaptozero.com/programme-documents.php



SUSTAINABLE CHEMISTRY GUIDANCE

サステナブルケミストリーガイド

Nike MSIの化学スコアリングの変更に関する情報は4ページをお読みください。2017年に化学スコアリングの変更が反映されます。

NIKE材料サステナビリティインデックス (NIKE MSI)

2003年、原材料の選択の潜在的環境へのインパクトについてデザイナーが情報を十分に得た、リアルタイムの決定を下せるよう当社はNike MSIの開発を開始しました。Nike MSIはNike製品作成チームが利用できる80,000以上の材料のそれぞれについて相対的な材料のスコアを計算します。これらのスコアはNike MSIの計測に沿って環境へのインパクトの低い材料を選択できるようデザイナーを支援します。

Nike MSIは3つのカテゴリに分類されるポイントを使用してスコアのバランスをとります。ベース材料スコア、材料の環境属性、サプライヤーの慣行の3つです。そして、Nike MSIスコアリングフレームワークの4つの環境へのインパクトエリアに均等に重きを置きます。これらのインパクトエリアは化学、エネルギー、温室効果ガスの強度、水と土地の使用強度、物理的廃棄物です。これによりNikeは包括的材料評価を可能にする堅牢なスコアリングフレームワークを達成することができます。

上記で述べたように、Nike MSIは自らのサプライチェーン内でサステナビリティへのベストプラクティスに貢献しているサプライヤーにはポイントを提供します。化学品に関しては、これにはサプライヤーの以下の能力が含まれます：

- 当社のRSLスタンダードに一貫して適合する
- ZDHC MRSLスタンダードに合致する化学製剤の調達にコミットする
- 適切な化学品管理慣行の適用にコミットする
- プロセスまたは材料の改善のために環境保護努力の確認 (VGE) を完了する
- bluesign® bluefinder等のポジティブな化学品の利用を可能にするツールを導入する

75ページから77ページのフォームにコミットメントを記入して送信する。RSLおよびグリーンケミストリーに関してコミットメントを使用して、Nike MSIプログラム内部での認識を獲得するための詳細情報は、green.chem@nike.com Nikeチームまでお問合せください。

Nike MSIスコアリングおよびプログラム全体の詳細はお近くのNikeリエゾン事務所材料チームまたはCatherine Newman (catherine.newman@nike.com) までお問合せください。

連絡先情報

RSL試験の質問に回答したり、そのプロセスで支援を提供できる人の名前、電話番号、Eメールアドレス

- 66 **NIKE承認ラボの連絡先および出荷に関する情報**
 - 68 **NIKEおよび関連会社RSL連絡先**
-



NIKE承認ラボの連絡先および出荷に関する情報

ラボ	出荷先情報	連絡先情報
BV-GmbH	Bureau Veritas CPS (Germany) GmbH Wilhelm Hennemannstr. 8 19061 Schwerin Deutschland	Dr Jörg Ruhkamp, Laboratory Director joerg.ruhkamp@de.bureauveritas.com Tel: 49-40-74041-0000 Fax: 49-40-74041-1499
BV-HK	Bureau Veritas CPS (Hong Kong) Ltd 1/F, Pacific Trade Centre, 2 Kai Hing Road, Kowloon Bay, Kowloon, Hong Kong	Dr.Lee Siu Ming, Regional Manager siuming.lee@hk.bureauveritas.com Tel: 852-2331-0726 Fax: 852-2331-0889
BV-US	Bureau Veritas CPS 100 Northpointe Blvd. Buffalo, New York 14228-1884	Michelle Korkowicz, Customer Service Specialist michelle.korkowicz@bureauveritas.com Tel: 716-505-3583 Fax: 716-505-3301
CTI-SZ	CTI (Shenzhen) Ltd. Building C, HongWei Industrial Park BaoAn 70 District Shenzhen, Guangdong, China	Kevin Lu, Senior Management Advisor kevin.lu@cti-cert.com Tel: +86-75533682258 Fax: +86-75533683385
INTERTEK-HK	Intertek Testing Services Hong Kong Ltd. 4c Garment Centre 576 Castle Peak Road Kowloon, Hong Kong	Kaye Leung, Client Services Supervisor kaye.leung@intertek.com Tel: 852-21738215 Fax: 852-34032528
INTERTEK-SH	Intertek Testing Services Limited, Shanghai 2/F, Building No.4, Shanghai Comalong Industrial Park, 889 Yi Shan Road, Shanghai 200233, China	Jane Wu, Sr. Manager, Customer Services jane.wu@intertek.com Tel: 86-21-64954601; 86-21-60917026 Fax: 86-21-64953254
INTERTEK-TW	Intertek Testing Services Taiwan Ltd. 8F., No. 423, Ruiguang Rd., Neihu District, Taipei 114, Taiwan	KY Liang, Divisional Head, Analytical Chemistry k.y.liang@intertek.com Tel: 886-2-66022236 Fax: 886-2-6602-2889



NIKE認定ラボの連絡先送付先情報、続き

ラボ	出荷先情報	連絡先情報
SGS-BR	SGS do Brasil Ltda. Av. Andromeda, 832 Barueri- Sao Paulo SP, 06473-000 Brazil	Adriana Morelli adriana.morelli@sgs.com Tel: +55 11 3883 8808 Fax: +55 11 3883 8899
SGS-HK	SGS Hong Kong Ltd. 4/F, On Wui Centre, 25 Lok Yip Road Fanling, NT, Hong Kong	Aaron Shum aaron.shum@sgs.com Tel: +852 2774 7449, ext.1354 Fax: +852 2330 4862
SGS-KO	SGS Korea Co., Ltd. #322, The O Valley Bldg. 555-9, Hoge-dong Dongan-gu, Anyang Gyeonggi Korea 431-080	Yuri Hong yuri.hong@sgs.com Tel: +82 31 460 8060 Fax: +82 31 460 8080
SGS-TH	SGS Thailand Ltd. 41/23 Soi Rama III 59 Rama III Road, Chongnonsee Yannawa, Bangkok 10120 Thailand	Bhuwadon Samlam bhuwadon.samlam@sgs.com Tel: +66 (0)2-683-0541, ext.2177
SGS-TW	FOOTWEAR AND EQUIPMENT SGS Taiwan Ltd. Multi Chemical Laboratory-Kaohsiung 61, Kai-Fa Rd, Nanzih Export Processing Zone Kaohsiung, Taiwan 81170 APPAREL SGS Taiwan Ltd. Textile Laboratory-Taipei 31, Wu Chyuan Road, New Taipei Industrial Park Wu Ku District, New Taipei City, Taiwan 24886	Janny Lin, SGS Marketing Representative janny.lin@sgs.com Tel: +886 7 3012121, ext.4102 Fax: +886 7 3010867 Anita Chuang anita.chuang@sgs.com Tel: +886 2 2299 3279, ext.5201 Fax: +886 2 2298 4060
SGS-VN	SGS Vietnam Ltd. Lot III/21, Road 19/5A, Group CN3 Tan Binh Industrial Park Tay Thanh Ward, Tan Phu District Ho Chi Minh City, Vietnam	Ngan Thai ngan.thai@sgs.com Tel: +848-38-160-999, ext.128 Fax: +848-38-160-996



RSL関連の質問の宛先

製品グループまたはブランド	Eメール	製品グループまたはブランド	Eメール
Nike Apparel (ナイキ アパレル)	RSL.NIKE.Apparel@nike.com	Converse (コンバース)	RSL.Converse@converse.com
Nike Footwear (ナイキ フットウェア)	RSL.NIKE.Footwear@nike.com	Hurley (ハーレー)	RSL.Hurley@hurley.com
Nike Equipment (ナイキ 装飾品)	RSL.NIKE.Equipment@nike.com	Nike ライセンス	RSL.NIKE.Licensee@nike.com

RSLに関する一般的な質問で上記の連絡先に連絡後にも、まだ支援が必要な場合には適切な部門の担当者に連絡してください。

NIKEおよび関連会社RSL連絡先

連絡先	部門	ロケーション	Eメール	電話
Mike Schaadt	すべて	WHQ	mike.schaadt@nike.com	+1-503-532-8516
Andy Chen	すべて	台北	andy.chen@nike.com	+886-2-81617135
Nick Farrar	すべて	WHQ	nick.farrar@nike.com	+1-503-532-0215
Michael Cordisco	Nike – フットウェア	WHQ	michael.cordisco@nike.com	+1-503-532-0674
Logan LaRossa	Nike – Apparel, Equipment, Licensees (Nike – アパレル、装飾品、ライセンス)	WHQ	logan.larossa@nike.com	+1-971-473-2730
John Foti	Converse (コンバース) – フットウェア	Converse (コンバース) /US	john.foti@converse.com	+1-617-377-1149
Raymond Guerrero	Converse (コンバース) – アパレル	Converse (コンバース) /US	raymond.guerrero@converse.com	+1-646-563-7411
Brett Bjorkman	Hurley (ハーレー) – すべて	Hurley (ハーレー) HQ/US	brett_bjorkman@hurley.com	+848-38-160-999, ext.500

その他ガイドラインおよび方針

臭気管理材料、ナノテクノロジー材料、動物の皮革の拡張的ガイダンス

- 70 **NIKE臭気管理、抗菌、芳香素材ガイドライン**
 - 71 **NIKEナノテクノロジー材料ガイドライン**
 - 72 **NIKE動物の皮革方針**
-



その他ガイド ラインおよび 方針

定義

Nikeは臭気管理材料を抗菌（殺生物剤、抗菌剤および静生物とも特定）、臭気キャプチャテクノロジー、芳香材料と定義します。

NIKE臭気管理、抗菌、芳香素材ガイドライン

Nike臭気管理材料を抗菌（殺生物剤、抗菌剤および静生物とも特定）、臭気キャプチャテクノロジー、芳香材料の使用と定義します。Nikeは現在、芳香材料および/または臭気管理テクノロジーをアパレル、フットウェア、装飾品製品ラインで使用することを制限しています。この制限は細菌の繁殖を管理、臭気を取る、臭気を覆うまたは製品や消費者に芳香を付けるために意図的に製品に適用されるすべての化学品または物質に適用されます。

以下の制限は、消費者および環境に配慮して設計されたものです。何らかの芳香材料または臭気管理テクノロジーをNikeの製品に使用する前に、以下に述べられる条件に適合しなければなりません。承認プロセスに関する詳細なガイドラインについては、Nike化学チームまで連絡してください。

芳香材料または臭気管理テクノロジーの条件：

- 効果的になるように、化学品を浸出または放出しない。A,B,C
- グローバルな法定スタンダードに適合する。
- EU殺生物剤製品規制のもと登録されている。
- Nike化学チームにより実施される社内毒性レビューに合格している。
- 当社の製品タイプに効果的であると証明されている。
- Nike制限物質一覧に適合する。
- bluesign® bluefinder一覧に加えられている。

注記：

A. 物質の浸出および意図的な放出に対する制限は以下の可能性があるためです：

- 肌に生息する良性細菌に害を及ぼす。
- 耐性菌が生まれる条件を作り出す。
- 生物濃縮の潜在的可能性を高める。
- Nike製品を法律で提言されている制限 (REACH)、EU化粧品指示、医療機器指示または医薬品製品指示に適合するようにする。

B. 効果的になるように物質を排出すると考えられるテクノロジー：

- 重金属 (Copper, Silver, Tributyltin (TBT))
- Triclosan
- Pentachlorophenol

C. 吸湿（カビ防止）袋：Dimethyl fumarate.



その他ガイドラインおよび方針

定義

ナノテクノロジーに基づく材料（つまりナノマテリアル）には定まった定義はありません。ナノテクノロジーは、一般に、1つまたはそれ以上の次元において1から100ナノメートル（nm）の範囲内の化合物又は成分を指します。1ナノメートルは1メートルの10億分の1です。）コロイド物質（特に金属）もこのサイズの範囲内に収まる場合があります。これらの材料は一般的にその小さなサイズに起因する強化されたまたは新しい性質があります。ナノテクノロジーは、高度に学際的であり、その例は、化学的用途（例えば、polymers）および電氣的/機械工学用途（例えば、顕微鏡機）に見出すことができます。

ナノ粒子 三面が1から 100 nmの範囲内。

ナノチューブ/ナノワイヤー 二面が1から100 nmの範囲内。

ナノフィルム 一面が1から100 nmの範囲内。

NIKEナノテクノロジー材料ガイドライン

Nikeは現在、ナノマテリアルをアパレル、フットウェア、装飾品製品ラインで使用することを制限しています。この制限は製品または構造に使用するために意図的に適用され、ナノマテリアルに組み込まれた任意の化学品または物質に適用されます。これらの物質は完成品に望ましい物理的特性を付与するか、部品の製造で使用されたために製品に残存するという理由から使用されます。

以下の制限は消費者および、ナノマテリアルの使用に関連する環境に対する潜在的にネガティブな影響が根絶されない場合には、最小限に抑えられることを確実にするために設計されています。ナノテクノロジーをNikeの製品に使用する前に、以下に述べられる条件に適合しなければなりません。

ナノテクノロジーが適用される製品の条件：

- 安全データが入手可能で許容可能でない限り、化学品（または粒子）を浸出または放出しない、または、着用の結果^A。
- グローバルな法定スタンダードに適合する。
- 適切に登録されている（例、静菌性の成分として使用される場合EU殺生剤指示）。
- 登録が必要でない場合には、製造業者/サプライヤーは消費者安全分析を利用可能にする。
- Nike化学チームにより実施される社内毒性レビューに合格している。^B
- 当社の製品タイプに効果的であると証明されている。
- Nike制限物質一覧に適合する。

注記：

A. 物質の浸出および意図的な/意図されない放出に対する制限は以下の可能性があるためです：

- 予期せぬ健康への影響を誘発する -一部のナノマテリアルは大きなものと同様の毒性を持つように見受けられますが、その科学的構造が大きな粒子の場合のデータをナノマテリアルに当てはめることを困難にしています。
- 予期せぬ暴露状況を作り出す（例：経皮吸収が特異に発生することがある）または予期せぬ結果が生じる（例：耐性菌の発生）。
- 生物濃縮の潜在的可能性を高める。
- Nike製品を法律で提言されている制限（REACH）、EU化粧品指示、医療機器指示または医薬品製品指示または国または市町村のナノマテリアルの使用に関する制限規定に適合するようにする。

B. 一貫性のある毒性レビューの必要性：

- 製造業者の意見は現実に即さない場合があり、一部の「ナノ」とラベル付けされた素材は、ナノマテリアルではありません。
- ナノマテリアルに関連した消費者の安全評価の問題は、徐々に進化しています。Nike化学チームは新しい発展の状況を常に見守っています。
- ナノマテリアルの毒性への憂慮は当業界の典型的な化学品に対する憂慮とは一線を画します。そのため、消費者の安全評価には新しいアプローチが必要です。



その他ガイド ラインおよび 方針

NIKE動物の皮革方針

以下の方針は動物の皮革素材（「皮革」）を使用したNikeブランド製品またはNike関連会社ブランド製品（集合的に「製品」とする）に適用されます。

許可された動物の皮革

以下の動物の皮革は製品に使用することが許可されています：

- 羊（皮革+毛上皮/ムートン、子羊を含む）
- 牛（皮革+毛上皮）
- 山羊
- 豚
- カンガルー（野生の場合には、政府機関の監督の下、積極的に頭数管理を行う団体から調達する必要があります。）

調達先の国

- 許可された動物の皮革はすべての国で調達することができますが中国、インド、アマゾンバイオームを除きます。その理由は以下に述べられます。
- 動物の皮革で作られた製品には、適切な絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 (CITES) または該当する場合は必要な輸出証明書が添付されていなければなりません。

追加的制限

- 動物の皮革（特に牛革）をアマゾンバイオームから調達してはいけません（以下の方針を参照）。
- 動物の皮革はエキゾチックであるとみなされている、あるいは保護対象のものではないけません。例としては、ワニ、チーター、クロコダイル、ゾウ、魚、馬、ヒョウ、ライオン、トカゲ、海洋哺乳類、ダチョウ、サメ、ヘビ、トラ、エイ、サイ、などが挙げられるが、これらに限定されない。
- 動物の皮革は、家畜化されたまたは野生の任意の種の犬猫から採取されたものであってはいけません。
- 動物の皮革は「ファー」であってはなりません、牛の「毛付き皮革」または羊のムートンは上記の通り許可されています。
- Nikeはミュールシングされていない羊から調達されそれが証明されている場合、そして、今後ウールの調達を供給および価格が許す限り早急に、ミュールシングされていない羊に一本化する場合にはウール繊維の使用をサポートします。
- Nikeは、ダウンを食肉産業の副産物として生産するベンダーから調達しています。ダウンは生きている鳥から収穫されず、フォアグラ産業の副産物として供給してはいけません。
- アンゴラウサギ：Nikeはアンゴラウサギウールを含む動物性の製品を人道的かつ責任ある方法で入手することを要求します。この要件は生体から毛皮を剥ぐことを排除します。



その他ガイド ラインおよび 方針

アマゾンバイオーム皮革調達方針

- IBGEに定義されるように、Nikeの製品に使用される原皮および皮革はアマゾンバイオームで飼育された牛からのものであってはなりません。
- Nikeブラジルの原皮/皮革サプライヤーは書面でNike製品への原皮/皮革をアマゾンバイオーム以外の場所で飼育された牛からのものを供給する旨証明しなければなりません。
- Nike製品のブラジルの原皮/皮革サプライヤーはNikeの製品に使用される原皮/皮革はアマゾンバイオーム以外の場所で飼育された牛からのものであるという、信頼できる保証を提供する、現行の追跡可能な透明性のあるシステムを保有する必要があります。
- Nikeはサプライヤーの現行の追跡可能で透明性のあるシステムの確立の進捗を四半期に一度確認します。

サプライヤーがNikeの製品に使用される原皮/皮革はアマゾンバイオーム以外の場所で飼育された牛からのものであるという信頼に足る保証を提供できない場合には、Nikeはすべてのアマゾンリーガル（IBGEに定義の通り）を含めるべく、除外エリアの拡大を検討します。

定義

- **飼育。** 牛の一生を参照
- **IBGE。** ブラジル国立地理統計研究所
- **アマゾンバイオーム。** アマゾン熱帯雨林と関連するエコシステム。ブラジル内のアマゾンバイオームの境界はブラジル国立地理統計研究所 (IBGE) により定義されています。地図：ftp://geoftp.ibge.gov.br/mapas_tematicos/mapas_murais/biomas.pdf
- **アマゾンリーガル。** アマゾンバイオームの一部を含む9つの州全体（アクレ、アマゾナス、ロライマ、アマパ、パラ、 Rondônia、マツグロソ、トカンチンス、マラニョン）。

関連するガイド

- **動物愛護。** サプライヤーは養殖、家畜、または野生（管理）を問わず、動物の皮革を健全な動物管理、人道的な動物の取り扱い/屠殺慣行を用いる処理業者から調達しなければなりません。
- **皮革ワーキンググループ (LWG)。** 皮革サプライヤーは環境にとって最善の方法（参照：www.leatherworkinggroup.com）に沿っていることを確認するために、なめしプロセスをLWG手順に照らし合わせてスクリーニングする必要があります。
- **Nike RSL。** 動物の皮革のサプライヤーはNike RSLに準拠しなければなりません。
- **追跡可能性。** サプライヤーは原皮/皮革の原産国を追跡確認することができなければなりません。
- **誠実さ。** 動物の皮革の種の識別は、材料および製品の合法的な輸入/輸出に適切であるように、正確（つまり科学名/ラテン名および一般名）でなければなりません。
- **法律。** サプライヤーは動物の皮革に適用されるグローバルな法律スタンダードすべてに適合しなければなりません。
- **貿易法。** サプライヤーは動物の皮革に適用される、国ごとの輸入輸出貿易法を順守しなければなりません。

フォーム

各ページの指示に従ってください。

- 75 **NIKEグリーンケミストリープログラム、
環境保護努力の確認**
- 76 **化学品管理&透明性**
- 77 **ZDHC MRSL 遵守への同意**

注記：以前RSLにあった試験要求フォーム (TRF) は、現在は
www.nikeincchemistry.com/restricted-substances-list/trf.pdfから
ダウンロードできます。



NIKEグリーン ケミスト リープロ グラム

環境保護努力の確認 (VALIDATION OF A GREENING EFFORT: VGE)

環境保護努力の確認 (Validation of a Greening Effort:VGE) はNikeマテリアルサステナビリティ指数 (Nike MSI) に従って、これらの取り組みにポイントを与えることにより、より良い、より持続可能な化学物質の材料またはプロセスへの使用を促すように設計されています。提出物は、労働者、消費者、および/または環境への化学物質の使用または毒性の低減が明らかに進んだ物質に焦点を当てたものでなければなりません。例には以下が含まれます：

- 性能要件を維持しながら、生産から危険な化学物質を排除する新しいプロセス。
- 材料の生産ラインにおける持続可能性がより高いアプローチへの変更。
- bluesign®またはOekotex 認証のような製造ラインの証明書。

特定の材料について、Nike MSIから化学的改善の規模と範囲に応じて最大7ポイントが付与されます。通常、最大ポイントは世界的な素材改善に付与され、すべてのNike MSIポイントは付与後2年間有効です。

VGEプロセス：

- VGE レビューへのリクエストはNike化学チーム (green.chem@nike.com) まで送信してください。レビューの最初の一步となる、詳細な質問が記載されたVGE 取り入れフォームが送付されます。
- 取り入れフォームに入力して、Nikeに返送してください。
- VGE送信の種類と範囲によりNikeはレビューのアプローチを提案します。
- (該当する場合には、) 配合物の情報開示はこの分析に足るよう的確でなければなりません。非開示契約 (NDA) は、サプライヤーの裁量で実施することができます。

注記：VGEプロセスは、供給契約またはサプライヤーの法的義務に優先されるものではありません。

サプライヤーは環境保護のための材料またはプロセスのレビューを求めます。 green.chem@nike.com

Nike化学レビュー。追加情報およびデータが求められる場合があります。NDAが締結される場合があります。

Nike化学が必要とみなす場合には、毒性レビューが実施されます。

Nike, Inc.化学は承認または否決を連絡します。



CONVERSE

Hurley





化学品管理 & 透明性

化学物質管理は、Nikeの方針に準拠した素材や製品を生産する上で不可欠な部分です。効果的な化学物質管理プログラムには、調達、追跡、測定、および必要な場合に化学情報を報告するための文書化されたポリシーが含まれます。強力で効果的かつ効果的な化学物質管理プログラムを開発するために、サプライチェーンが利用できるリソースは次のとおりです：

- 危険な化学品のゼロ排出 (ZDHC) プログラムロードマップ、製造制限物質一覧 (MRSL) (www.roadmaptozero.com)
- AFIRM Group サプライヤーツールキット (www.afirm-group.com/toolkit/)

以下のトピックを読み、チェックボックスにチェックを入れてコミットメントを示してください。

- 私たちは化学物質の購買方針を文書化しました。ポリシーには、承認済みのベンダーのリストが含まれており、サイトで許可されているすべての化学物質と、購買ポリシーで特に指定されていない化学物質の購入のレビュープロセスがリストされています。
- 購入された化学品の在庫、保存（場所も含む）、また、施設で使用され、新しい化学品が到着するたびに定期的に入れ替えられる化学品について文書に記載しました。
- 私たちは、すべての化学物質の現行のMSDSまたはSDSを当社の施設が保有し、これらの化学品をすべての場所で取り扱うスタッフ全員が容易に入手できるようにします。
- すべての化学物質が適切にラベル付けされ、適切な容器に保管され、元の（バルク）化学物質に追跡可能であることを確認します。
- 私たちは、上級管理職がどのようにシステムを改善し、有害化学物質のゼロ排出という目標に近づいた組織に導く方法についてのフィードバックを提供する文書化されたプロセスを有します。
- 私たちは、私たちの施設が以下の基準に適合している化学物質のみを確実に使用するためにあらゆる努力を行います。
 - あなたの製品が製造され販売される場所の法律
 - Nike RSL
 - ZDHC MRSL (www.roadmaptozero.com/programme-documents/)

すべてのボックスにチェックを入れたら、以下のフィールドに入力して、このフォームをスキャンしたものをNikeベンダーポータル (www.nikemsi.com) にアップロードしてください。不完全なフォームは受け付けられません。

サプライヤー名 _____

マネージャーの名前（記入） _____

マネージャーの正式役職名 _____

マネージャーの署名 _____

日付 _____



ZDHC MRSL 遵守への同意

危険な化学品のゼロ排出 (ZDHC) 基金は以下のビジョンとミッションを掲げる非営利組織です。

- **ZDHCのビジョン**：消費者、労働者および自然環境を保護するための繊維産業における持続可能な化学およびベストプラクティスを広範に実施する。
- **ZDHCミッション**：当社のサプライチェーンの危険な化学品のゼロ排出に向けて前進し、環境と人の在り方の改善のために行動する。

ZDHC MRSLの認識と暫定適合ガイド

署名当事者は、ZDHC MRSLバージョン1.1 (2015年12月) および中間MRSL準拠ガイド (2015年12月) の受領を認めます。どちらもここから入手可能です：www.roadmaptozero.com

署名当事者は、さらに、以下の責任を認めます：

- これから、ZDHC MRSLを自社の製造サイトで実装します。
- ZDHC MRSLをサプライチェーンパートナーに渡します。
- 中間MRSL準拠ガイドに記載されている文書を、その化学物質供給業者から収集します。

ZDHC MRSLの範囲に限定することなく、助剤、染料、インク、印刷物、接着剤および溶剤などの化学物質のサプライヤーに特に焦点を当てます。

この宣言のコピーをスキャンしてNikeベンダーポータル (www.nikemsivp.com) にアップロードしてください。この宣言に関するご質問は、RSLSupport@nike.comまでお問合せください。

サプライヤー名 _____

サプライヤー住所 _____

マネージャーの名前 (記入) _____

マネージャーの正式役職名 _____

マネージャーの署名 _____

日付 _____

